

国際協力事業団北陸支部 業務概要

JICA LIBRARY



J 1151978 (2)

平成11年 3月



国際協力事業団
北 陸 支 部

20
6
HR
RARY

| |
|------|
| 北陸支 |
| JR |
| 99-3 |



目 次

| | |
|---------------------------------|----|
| I. わが国の経済協力の形態 | 3 |
| II. 国際協力事業団の設立と目的 | 4 |
| 1. 主 要 業 務 | 4 |
| 1) 開発途上国に対する政府間約束に基づく技術協力 | 4 |
| 2) 開発途上国に対する無償資金協力促進 | 5 |
| 3) 青年海外協力隊 | 5 |
| 4) 開 発 投 融 資 | 5 |
| 5) 海外移住・日系人支援 | 5 |
| 6) 国際緊急援助隊の派遣 | 5 |
| 7) 人材の養成・確保 | 5 |
| 2. 組 織 | 6 |
| 3. 役 職 員 | 6 |
| 4. 資 本 金 | 6 |
| 5. 予 算 | 6 |
| III. 北陸支部の概要 | 7 |
| 1. 名 称 | 7 |
| 2. 所 在 地 | 7 |
| 3. 組 織 | 7 |
| 4. 管 轄 地 域 | 7 |
| 5. 沿 革 | 7 |
| 6. 主 要 業 務 | 8 |
| 1) 国内広報及び啓発 | 8 |
| 2) 技 術 協 力 | 8 |
| 〈研修員の受入〉 | 8 |
| 〈青年招へい〉 | 9 |
| 〈青年海外協力隊〉 | 9 |
| 〈専門家の派遣〉 | 10 |
| 〈開発協力・投融資〉 | 10 |
| 3) 移住者・日系人支援 | 10 |
| 4) 民間緊急援助物資の輸送 | 11 |
| 附：参 考 資 料 | 13 |
| 1. 管内県のJICA業務主管課 | 15 |
| 2. 管内県・市、国際交流協会 | 15 |
| 3. 管内県3県の概要 | 16 |
| 1) 富 山 県 | 16 |
| 2) 石 川 県 | 16 |
| 3) 福 井 県 | 17 |
| 4. 統 計 資 料 | 19 |
| 5. 参 考 資 料 | 69 |



1151978(2)

I. わが国の経済協力の形態

発展途上国の開発に対するわが国の「経済協力」の形態には、次の3つがあります。

- ① 政府開発援助 (Official Development Assistance=ODA)
- ② その他の公的資金の流れ (Other Official Flows=OOF)
- ③ 民間資金の流れ (Private Flows=PF)

このうち、政府開発援助=ODAは、次のように分類できます。

- ① 2国間贈与
 - ア 無償資金協力
 - a 一般無償援助 (基礎生活分野、人作り分野等のプロジェクトに対する無償援助。
例えば病院、職業訓練センター)
 - b 債務救済無償
 - c 経済構造改善努力無償
 - d 小規模無償
 - e 水産関係援助
 - f 文化関係援助
 - g 災害緊急援助
 - h 食料援助
 - i 食料増産援助
 - イ 技術協力
- ② 2国間政府貸与
- ③ 国際機関に対する出資・拠出

JICAは、上記ODA業務の内、技術協力及び技術協力と関連のある無償資金協力業務の促進を担当しています。

ちなみに、2国間政府貸与は通常「円借款」と呼ばれ、海外経済協力基金と日本輸出入銀行が実施機関です。

Ⅱ．国際協力事業団の設立と目的

国際協力事業団は、開発途上地域等の経済および社会の発展に寄与し、国際協力の促進に資することを目的として、「国際協力事業団法」(昭和49年法律第62号)に基づき、昭和49年8月1日設立された特殊法人です。

英文名は、JAPAN INTERNATIONAL COOPERATION AGENCY で JICA (ジャイカ) と略称されます。

1. 主要業務

1) 開発途上国に対する政府間約束に基づく技術協力

(1) 研修員の受入

開発途上国の国づくりに必要な技術者等を毎年8,000人あまり受け入れています。

研修は、各省庁、地方自治体、大学、公社公団、民間企業等の協力を得て「稲作から原子力」まで広範囲にわたっています。

来日した研修員は、全国13カ所に建てられた事業団の国際研修センターや事業団があっせんする宿舍をベースに長期・短期滞在して研修します。

(2) 専門家の派遣

開発途上国の要請を受けて、日本人専門家を毎年3,000人あまり派遣しています。

専門家は、相手国の政府公共機関に所属し、長期・短期にわたり各分野での技術指導、助言、調査、研究等の協力を行います。

(3) 機材の供与

派遣中の専門家の技術移転が有効に行われるために、また研修員が帰国後、日本で学んだ知識や技術を効果的に活用するために必要な機材を供与します。機材の種類は、農業機械、医療機器、通信機器など広範囲にわたっています。

(注) プロジェクト方式の技術協力

国際協力事業団では、「プロジェクト方式の技術協力」と呼んで「研修員の受入」「専門家の派遣」「機材の供与」を組み合わせ、総合的協力拠点とし、長期にわたるその国の開発に最も適した技術の開発や研究、訓練等を世界各地で行っています。たとえば農林水産、社会開発、保健、医療、および人口・家族計画、鉱工業の各分野でこの方式の技術協力が推進されています。

(4) 調査団の派遣(開発調査)

国づくりの基盤となる計画、たとえば道路、電力、港湾、鉄道などの公共部門の整備や国土開発のための計画作成援助として調査団を派遣しています。調査結果は報告書に取りまとめ、相手国に提出されます。

2) 開発途上国に対する無償資金協力促進

無償資金は、開発途上国に対してわが国から供与される返済義務のない資金です。

国際協力事業団では、特に技術協力との結びつきが強い無償資金協力による施設や設備の建設、整備等を促進する業務を行っています。分野は、医療、教育、農業、運輸および水産にわたっており、供与された施設はプロジェクト方式技術協力の有力な拠点となっています。

3) 青年海外協力隊

開発途上国の派遣要請に基づいて、住民と一体となってその地域の経済および社会の発展に協力する、20才から39才までの青年を約60ヶ国の開発途上国へ2年の任期で派遣しています。

派遣職種は、農林水産、加工、保守操作、土木建築、保健衛生、教育文化、スポーツなど140以上の職種にわたっています。

4) 開発投融资

開発途上国において日本の民間企業等が活動する場合、病院、学校、道路建設など地域住民の福祉向上に役立つ関連施設を整備するときや、農林業、鉱業分野で試験的に実施してみないと事業の成否のわからない試験開発事業に対し、低利、長期の資金を供給しています。また要請に応じて、民間企業の行う開発事業に対し、調査や技術指導も行っています。

5) 海外移住・日系人支援

日本人移住者が、それぞれの技術、技能を生かして現地に定着・安定し、受入国の発展に貢献できるよう現地でも移住者を支援しています。

6) 国際緊急援助隊の派遣

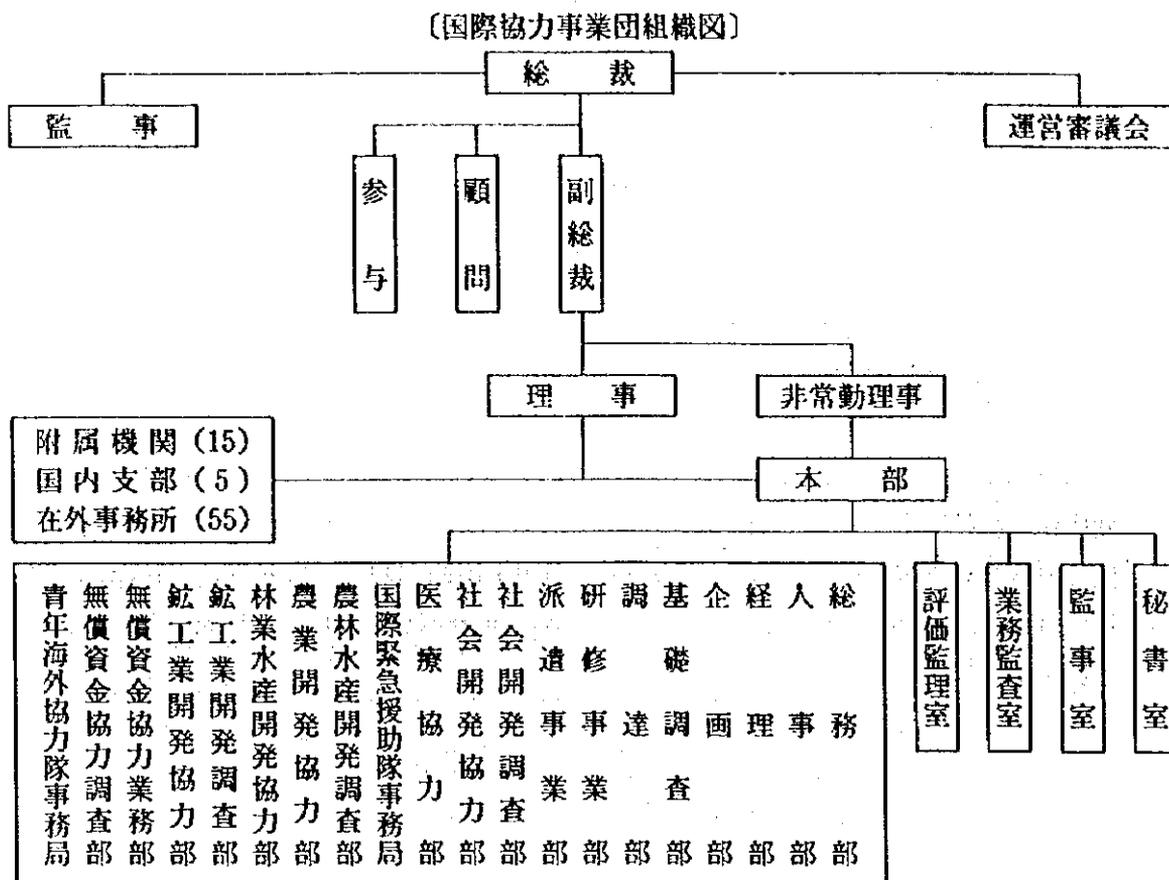
地震、火山噴火、台風、洪水、災害等の大規模な災害発生に対し、被災国の要請があり次第、国際緊急援助隊を派遣して、救急医療や救助活動にあたるとともに、被災地向けに援助物資を送付しています。

7) 人材の養成・確保

より効果的な技術協力を行なうためには、優れた専門家の養成と確保が不可欠です。JICAでは内部に高度な専門知識と経験を持った国際協力専門員を確保するほか、国際協力総合研修所においてさまざまな分野の専門家を養成したり、専門家候補者を登録したりするなど、優秀な専門家の確保に努めています。

2. 組織

事業団は本部を東京都に置き、国内に国際協力総合研修所、研修センターなど15の附属機関並びに北陸支部など5国内支部を、海外にタイ事務所など55の在外事務所を置いています。



国際協力事業団本部住所、連絡番号

〒151-8558 東京都渋谷区代々木2丁目1-1 新宿マインズタワー内

電話（受付台）(03) 5352-5311～5314

（平成10年7月末現在）

3. 役職員

事業団に役員として総裁、副総裁2名、理事10名（うち非常勤2名）および監事1名がおかれ、平成10年（年度定員）職員は1,217名です。

4. 資本金

平成10年度における資本金は1,239億円です。（平成10年3月31日現在）

5. 予算

事業団の事業経費は国家予算でまかなわれており、平成10年度予算額は1,851億円です。

6. 主要業務

1) 国内広報及び啓発

ア 国際協力に関する広報

報道機関や一般に対し資料の提供、取材協力、またはラジオ、テレビを介した広報を行うほか講演会、パネル展、映画会等を開催しています。(これらの16ミリ映画フィルム、VTRテープ、パネル等を無料貸出ししていますので、ご利用下さい。)

イ 関係機関との連携

地方自治体・経済団体及び国際交流団体等が実施するセミナー、シンポジウム及び会議等における日本の対途上国援助やJICA業務等の説明講師を派遣し、国際協力事業に対する理解と協力の増進に努めています。

ウ 高等学校国際教育研究協議会への協力

管内の高等学校111校が加入し各県ごとに組織されている高等学校国際教育研究協議会(昭和50年11月1日、文部省中央教育研究団体に指定)及び中部6県の協議会で構成する東海・北陸地区高等学校国際教育研究協議会が、国際協力に対する知識及び理解を深めるため実施する研修会・弁論大会・研究発表会・講演会・映画会及びパネル展等に対して、協力を行っています。

2) 技術協力

〈研修員の受入〉

国際協力事業団はアジア、中近東、アフリカ、中南米、東欧等の開発途上国の経済・社会開発に必要な人づくりに協力し、わが国との友好親善を深めることを目的として、これらの国々から研修員を受け入れています。

研修員は、開発途上諸国の行政官や政府機関・公共機関・民間企業の研究者、中堅技術者等が中心で、相手国政府から推薦された人達です。

研修の方式には、大別して集団コースと個別研修があります。

集団コースは、開発途上諸国に共通して要望の高い研修内容のコースをあらかじめ設定して、集団的に実施するものです。

個別研修は、各国から個々に要請される専門分野についてその個別の希望に合致した研修を行うものです。個別研修には次の3つのタイプがあります。

- ① あらかじめ研修内容を限定せず、相手国の要望に基づいて随時個別に研修プログラムを作成して研修員を受け入れる。
- ② わが国が実施している専門家派遣、プロジェクト協力との有機的連携を図るため、その相手国関係者を受け入れる(カウンターパート)。
- ③ 国連等国际機関からの要請に基づく研修員受入(国際機関等)。

研修員の受入数は年々増加の一途をたどり、昭和29年にこの事業が開始されて以来、

平成9年3月末までに受け入れた研修員総数は163,335人に達しています。そして、現在は、さらに対象国、分野も拡大し、かつ多様化してきました。

北陸支部では、平成4年10月よりこの業務に本格的に取り組む、管内にある国または地方公共団体の試験研究機関・大学・民間企業及び民間団体等の協力を得て集団・個別研修員受入業務を実施しています。

〈青年招へい〉

ASEANをはじめとするアジア、太平洋、アフリカ、中南米諸国から将来の国造りを担う青年を専門分野別に約1ヵ月間招き、それぞれの分野について学ぶとともに、さまざまな交流を通して相互理解を深め、信頼と友情を築くことを目的としています。

この計画は昭和59(1984)年度、ASEAN6ヵ国の青年を招いたことから開始されました。以来、招へい対象国を広げ、平成11(1999)年3月末現在までに受け入れた青年総数は18,194人に達しています。

管内では来日する青年に対するプログラムのうち、地方での分野別研修、日本青年との交流、ホームステイ等約8日間の地方プログラムを関係県及び国際交流団体等の協力を得て実施しています。平成10年度は5グループ、計122名の青年が管内を訪れ各地で日本青年と友情の輪を広げました。

平成11(1999)年度は107ヵ国から1,665名の青年が来日、うち5グループ117名が北陸地区を訪れる予定です。

〈青年海外協力隊〉

技術・技能を身につけた、心身ともに健全な日本の青年を「青年海外協力隊員」として、発展途上国へ派遣し、それら各国の人造り・国造りに協力しています。協力隊員は、派遣国の住民と同じ生活をし、同じ物を食べ、心情を理解し合い、お互いの信頼の上に立って協力することを特色としています。

この事業は昭和40年に開始され、以来派遣先国及び派遣隊員数も増加してきており、平成11年3月末現在、派遣した総数は18,018人（うち女性6,250人）に達しています。

北陸支部では、県・市町村及び協力隊員OB等の協力を得て、春・秋の年2回募集・第1次選考を実施している他、特別説明会、随時帰国隊員報告会、留守家族会、講演・映写会、パネル展示会等の行事を行っています。

なお、平成5年4月1日から、進路相談カウンセラーを配置し、帰国隊員の進路相談に当たっております。

また、在職の青年達の協力隊への応募の促進と、帰国隊員の地元への定着化を図るため、各地で企業等との懇談会を実施しています。

〈専門家の派遣〉

専門家派遣業務は、要請に基づき開発途上の国々へ専門家を派遣し、各種の分野で相手国の実情に適した技術や知識を供与することを主たる目的としており、研修事業と共にいわゆる「人づくり」協力を進める技術協力のもっとも基本的な形態のひとつです。

専門家は派遣形態により、個別専門家とプロジェクト専門家に大別されます。昭和29年にこの事業が開始されて以来、平成8年3月末までに派遣された専門家は47,697人に達しました。

北陸支部では、派遣専門家登録の促進、派遣先との連絡、打合せ、帰国専門家との連絡、相談及び派遣元並びに専門家志望者に関する情報の収集等の業務を行っています。

〈開発協力・投融資〉

開発途上国において開発事業を行う本邦人が本体事業に付随して必要となる関連施設の設備事業や、試験的に行われる事業に対し、長期低利な資金を融資したり、またあわせて調査や技術の指導を、必要に応じて事業団の費用負担で行っています。

この制度は、開発途上国での民間の事業活動がより円滑に運ぶよう支援するためのものでありますが、同時にそれが単なる経済活動のみならず開発途上国の社会発展に貢献し、ひいてはわが国と開発途上国との協力関係の強化に役立つことを目的としています。

北陸支部では、開発投融資説明会や開発投融資案件の窓口相談等を実施しています。

3) 移住者・日系人支援

戦後の海外移住は昭和27年に再開され、ブラジル、パラグアイ、アルゼンティン、ボリビア等の南米諸国への農業移住が中心となっていましたが、その後カナダ、オーストラリアへの技術移住が加わりました。

また、昭和60年に「海外開発青年」制度が発足しました。この制度は、平成8年度に、「日系社会青年ボランティア」と名称が変更され、任期も2年となり青年海外協力隊と類似しています。海外移住関連では、北陸支部は次の業務を行っています。

① 日系社会青年ボランティア；

北陸支部では、年1回（春）に募集・第一次選考試験を実施している他、相談等を随時受けつけています。

② 日系社会シニアボランティア；

日系社会を形成している中南米等の移住者に対して各種の支援活動を実施しております。これら日系社会からの要望に応えるため、日本語・福祉・農業分野におけるボランティア精神に富む方（40～69才）を約2年間中南米の日系社会へ派

遺しております。

③ 移住研修員の受入れ

現地日系社会の人材育成施策として、移住者の子弟、中堅移住者を技術研修員として日本に受入れ、管内の各種研修機関の協力を得て技術研修を実施しています。

水準の高い技術と、ボランティア精神を持つ日本の若者が、現地に赴いて日系社会への技術指導、協力を行っている事業です。

任国で、自己の技術を発揮して、日系社会とその関連分野の充実にJICAが往復渡航費、現地生活費の支給などを支援する制度です。

4) 民間緊急援助物資の輸送

世界各地において、地震・洪水等の大規模災害が多数発生し、その度に多くの人命・財産が失われています。この様な大規模災害が発生した場合、我が国政府は被災国政府または国際機関の要請に応じて、国際緊急援助活動を行うとともに緊急援助物資の供与を行っており、その業務を国際協力事業団（JICA）が実施しています。

他方、民間においても、人道的な救援活動に関心が高まっており、援助物資の供与などにより、自ら国際協力に参画しようとの意識が育っています。

JICAでは、平成4年度から、政府民間の連携を促進し、より効果的な緊急援助を実施するために、新規事業として、地方公共団体・民間機関・その他の団体・個人が集荷する援助物資を被災国政府に届ける業務を開始することになりました。

JICAは、大規模災害が発生した場合、その災害の状況・必要とする援助物資について公表し、援助物資の寄贈を受け付け、輸送を行います。

附　：　参　考　資　料

1. 管内県のJICA業務主管課
2. 管内県・市、国際交流協会
3. 管内県3県の概要

1. 管内県のJICA業務主管課

富山県 〒930-8501 富山市新総曲輪1-7
 総務部国際課 TEL076(444)3156
 FAX076(432)5648

石川県 〒920-8580 金沢市広坂2-1-1
 県民文化局国際課 TEL076(223)9108
 FAX076(221)0200

福井県 〒910-0005 福井市大手3-17-1
 県民生活部国際交流課 TEL0776(20)0295
 FAX0776(22)1702

2. 管内県・市、国際交流協会

北陸3県 国際交流協会一覧

| | 県名 | 団体名 | 〒 | 住所 | 連絡先 |
|---|-----|---------------------|----------|------------------------------|--------------------------------------|
| 県 | 富山県 | 財とやま国際センター | 930-0856 | 富山市牛島新町5-5 インテック明治生命ビル4F | TEL 076-444-2500 FAX 076-444-2600 |
| | 石川県 | 財石川県国際交流協会 | 920-0853 | 金沢市本町1-5-3 リファール3F | TEL 076-262-5931 FAX 076-263-5931 |
| | 福井県 | 財福井県国際交流協会 | 910-0004 | 福井市宝永3-1-1 福井県国際交流会館 | TEL 0776-28-8800 FAX 0776-28-8818 |
| 市 | 富山県 | 富山市民国際交流協会 | 930-0085 | 富山市丸の内1-4-50 富山市国際交流センター内 | TEL 076-442-1109 FAX 076-442-3807 |
| | | 高岡市国際交流協会 | 933-0029 | 高岡市御旅屋町101 | TEL 0766-27-1856 FAX 0766-27-1858 |
| | | 氷見市国際交流協会 | 935-0017 | 氷見市丸の内1-1 氷見市長公室内 | TEL 0766-74-8021 FAX 0766-74-4004 |
| | | 黒部市国際文化センター コラーレ | 938-0031 | 黒部市三日市20 | TEL 0765-57-1201 FAX 0765-57-1207 |
| | 石川県 | 財金沢国際交流財団 | 920-0865 | 金沢市長町2-2-43 長町研修館2F | TEL 076-220-2522 FAX 076-220-2527 |
| | | 小松市国際交流協会 | 923-0925 | 小松市八日市町52 | TEL 0761-21-2226 FAX 0761-20-1266 |
| | 福井県 | 福井市国際交流協会 | 910-0005 | 福井市大手3-10-1 国際交流課内 | TEL 0776-20-5271 FAX 0776-20-5274 |
| | | 武生市国際交流協会 | 915-8530 | 武生市府中1-13-7 武生市政策企画課内 | TEL 0778-22-3396 FAX 0778-22-7989 |
| | | 勝山市国際交流協会 | 911-0804 | 勝山市元町1-1-1 勝山市役所内 | TEL 0779-88-1111 FAX 0779-88-1119 |
| | | 鯖江市国際交流協会 | 916-0023 | 鯖江市西山町13-1 鯖江市役所市長室企画課内 | TEL 0778-54-0059 FAX 0778-52-9090 |

4. 統計資料

広報関係

| | |
|--|----|
| ・平成10年度国際協力キャンペーン実施概要 | 21 |
| ・平成10年度「国際協力市民講座」実施概要 | 23 |
| ・ニューズレター20号送付先一覧 | 24 |
| ・支部所蔵ビデオ一覧 | 25 |
| ・JICA 北陸支部所蔵パネル一覧 | 29 |
| ・平成10年度JICAパネル利用状況一覧 | 30 |
| ・平成10年度「国際協力を考えるヤングフォーラム／高校生対象」実施概要 | 31 |
| ・平成10年度「国際協力を考えるヤングフォーラム／小学・中学生対象」実施概要 | 32 |
| ・高校生エッセイコンテスト'98北陸支部結果一覧 | 33 |
| ・中学生エッセイコンテスト'98北陸支部結果一覧表 | 34 |
| ・国際協力関連定期行誌（支部受領分）一覧表 | 35 |

青年海外協力隊関係

| | |
|------------------------|----|
| ・青年海外協力隊年度別応募者推移（北陸3県） | 36 |
| ・青年海外協力隊年度別参加者推移（北陸3県） | 37 |
| ・青年海外協力隊合格者数推移（北陸3県） | 38 |
| ・青年海外協力隊派遣実績（北陸3県） | 39 |
| ・青年海外協力隊員国別派遣実績（北陸3県） | 40 |
| ・青年海外協力隊員現職参加状況（北陸3県） | 41 |
| ・派遣中隊員の身分措置状況（北陸3県） | 43 |
| ・帰国隊員の就職状況（北陸3県） | 43 |

日系社会青年ボランティア関係

| | |
|-----------------------|----|
| ・日系社会青年ボランティア実績推移 | 44 |
| ・日系社会青年ボランティア説明会参加者推移 | 44 |

研修員受入関係

| | |
|-----------------------|----|
| ・平成10年度北陸管内研修員受入状況一覧表 | 45 |
| ・移住者関係技術研修員受入実績 | 46 |

青年招へい関係

| | |
|-------------------------|----|
| ・青年招へい事業北陸3県年度別受入実績一覧 | 47 |
| ・平成10年度北陸3県の青年招へい事業受入日程 | 51 |

高等学校国際教育研究会関係

| | |
|-------------------------------------|----|
| ・高校・中学教師海外研修派遣実績（北陸3県） | 56 |
| ・高等学校国際教育研究会（高国教）及び開発教育関連活動状況（北陸3県） | 57 |

地方自治体職員等国際協力実務研修関係

| | |
|-------------------------------|----|
| ・地方自治体職員等国際協力実務研修への参加実績（北陸3県） | 58 |
| ・地方自治体職員等国際協力実務研修地方開催分実施概要 | 59 |

派遣専門家OB関係

| | |
|--------------------------------|----|
| ・帰国専門家連絡会活動報告 | 61 |
| ・石川県JICA派遣専門家OB会員寄稿等の支部保管分資料一覧 | 65 |
| ・石川県JICA派遣専門家OB・現地活動パネル一覧 | 66 |
| ・福井県JICA派遣専門家OB・現地活動パネル一覧 | 67 |

平成10年度 国際協力キャンペーン実施概要 (NO.1)

北陸支部

| No | 行 事 名 | 実施時期 | 実施場所 | 対 象 | 参加人員 | 行事内容 | 共催・後援団体 主 委 員 会 |
|----|---|---------------------------------|--------------------------------|-----|---------|--|--|
| 1 | (富山県) 国際交流フェスティバル98 | 平成10年 10月10日(土) | 富山市民プラザand 大手モール | 一般 | 4,000人 | 外国人カラオケ、コンサート等ステ ージ ワークショップ パネル展 ダーツでアジアを考える | 共：富山市民国際交流協会 (財)とやま国際センター 全国食文化交流プラザ富山実行委員会 国際協力事業団北陸支部 後：富山県、富山市 |
| 2 | (石川県) 国際交流・協力DAYS 国際協力フォーラムin ISHIKAWA「海と生きよう」 小さなハートプロジェクト国際 協力ハンマーマンプライズ | 平成10年 11月7日(土) 11月15日(日) | リフアール3F4F (石川県国際交流 センター) | 一般 | 3,800人 | パネル展示、講演、演劇等 | 共：(財)石川県国際交流協会 いしかわ国際協力研究機構 ユエローセンター金沢 国際協力事業団北陸支部 後：石川県 石川県教育委員会 |
| | | 11月14日(土) | 金沢市文化ホール | 一般 | 80人 | パネル展示、講演 | 石川県JICA派遣専門家OB会主催 —富山、石川、福井専門家OB会 |
| | | 11月15日(日) | リフアール3F (石川県国際交流 センター) | 一般 | 70人 | チャリティオークション | 小さなハートプロジェクト国際協力ハンマーマンプライズ実行委 員会主催(協力隊OB会、専門家OB会、NGO) 後：国際協力事業団北陸支部 |
| 3 | (福井県) 国際交流 キャンペーン・イン福井 | 平成10年 10月17日(土) 10月18日(日) | 福井県国際交流会館 | 一般 | 12,000人 | パネル展 ごちゃまぜ世界村 ワールドパラエティーション等 JOCV帰国報告会 | 主：福井県 (財)福井県国際交流協会 国際交流関係団体連絡会 国際協力事業団北陸支部 後：福井新聞社、福井テレビ、NHK福井放送局、FM福井 FBC福井放送、福井ケーブテレビ |

平成10年度 国際協力キャンペーン実施概要 (NO.2)

北陸支部

| No | 行 事 名 | 実施時期 | 実施場所 | 対象 | 参加人員 | 行事内容 | 共催・後援団体 | |
|----|-----------------------------|--------------------------------------|---|------------------|--------------------|---|---|--|
| | | | | | | | 主な講師 | |
| 4 | (石川県) 第10回全国農業青年交換大会 | 平成10年 8月26日(水) ～ 8月28日(金) | 石川県産業展示館 石川県地場産物振興 センター 石川県農業総合研究 センター他 | 一般 県外農業青年 | 2,189人 | JICA青年招聘フェリビリティ農業青年の大会への参加 JICA事業紹介を開会式の昼食時にマルチビジョンで 放映 | 主：農林水産省 石川県農業青年グループ連絡協 農業青年クラブ連絡 協議会等 後：石川県 ・皇太子殿下、同妃殿下出席 | |
| 5 | (石川県) 第20回 石川の農林漁業まつり | 平成10年 10月24日(土) ～ 10月25日(日) | 石川県産業展示館 1,2,3号館、屋外 | 一般 | 110,000人 | 産業展示コーナー JICAパネル展示 ビデオ上映 | 主：石川の農林漁業まつり実行委員会 後：石川県他 | |
| 6 | (福井県) 9.8 越前・若狭の産業フェア | 平成10年 10月24日(土) ～ 10月26日(月) | サンルーム福井 | 一般 | 60,000人 | 産業展示コーナー JICAパネル展示 ビデオ上映 福井県協力隊説明会 | 主：越前・若狭の産業フェア実行委員会 後：福井県農業委員会 | |
| 7 | (石川県) JAPAN TENT | 平成10年 8月5日(水) (7/30～8/6) | 金沢市文化ホール 金沢中央公園 ホテル日航金沢他 | 留学生 研修生 一般 | 研修、留 学生35 0人 | ホームステイプログラム ブース出展 JICAパネル展示 ろくろ体験コーナー JICA研修員参加 | 主：JAPAN TENT実行委員会 後：外務省等各省庁 北国新聞 石川県 国際協力事業団北陸支部他 | |
| 8 | (石川県) 第6回アジア交流祭り | 平成10年 10月3日(土) ～ 10月4日(日) | 金沢市役所前広場 | 一般 | 12,000人 | ブース出展 JICAパネル展示 ろくろ体験コーナー 民族衣装試着 (JOCVOB会) | 主：金沢国際交流財団 後：金沢市 国際協力事業団北陸支部他 | |

平成10年度「国際協力市民講座」実施概要

北陸支部

| No. | 行事名 | 実施月日 | 実施場所 | 対象等 | | 共催・後援等 | 講師 | 特記事項 |
|-----|--|-------------|-------------|------------|-----|---------------------------------|-----------------------------------|---------------------------------------|
| | | | | 対象 | 人数 | | | |
| 1. | (富山県) 国際ボランティア入門 講座 | 平成10年10月10日 | 富山市民プラザ | 一般 | 40人 | 共：とやま国際センター (富山県高国協) | JICA職員 JOCV/OB・OG 専門家OB | |
| | | 平成10年11月8日 | 富山市国際交流センター | 一般 | 45人 | | | |
| | | 平成11年1月10日 | 富山市国際交流センター | 一般 | 38人 | | | |
| | | 平成11年2月14日 | 富山市国際交流センター | 一般 | 55人 | | | |
| 2. | (石川県) 金沢市青少年派遣事前 研修 | 平成10年12月10日 | 富山県女性総合センター | 一般 高校教師 | 64人 | 共：金沢市 共：金沢国際交流財団 | JICA職員(林) JOCV/OB・OG 専門家OB会 | |
| | | 平成11年2月7日 | クロスランドおやおべ | 一般 | 60人 | | | |
| | | 平成10年10月10日 | 富山女性総合センター | 一般 | 65人 | | | |
| | | 平成10年4月21日 | キゴ山ふれあいの里 | 一般 | 60人 | | | |
| 3. | (福井県) ごちやまぜ世界村 (JICA事業説明 JOCV帰国報告等) | 平成11年11月25日 | 長町研修館 | 一般 | 50人 | 共：(財)福井県国際交流協会 共：鯖江青年会議所 | JICA職員(林) JOCV/OB・OG 専門家OB会 | JICA職員 JOCV/OG(野中、高島) 専門家OB(川上) |
| | | 平成10年10月18日 | 福井県国際交流会館 | 一般 | 80人 | | | |
| | | 平成10年5月19日 | 鯖江青年の家 | 一般 | 62人 | | | |

ニュースレター20号送付先一覧

| 送付先 | 富山県 | 石川県 | 福井県 | 小計 |
|-----------------|---|-----|-----|---|
| 派遣中専門家 | | | | 10 |
| 派遣中JOCV・調整員 | 16 | 24 | 20 | 60 |
| 帰国JOCV | | | | 29 |
| 派遣中日系社会青年ボランティア | | | | 4 |
| 帰国日系社会青年ボランティア | | | | 1 |
| JICA派遣専門家OB | 54 | 51 | 21 | 126 |
| JOCVOB | 63 | 82 | 47 | 192 |
| JOCV留守家族 | | | | 55 |
| 県国際協力担当課 | 10 | 10 | 10 | 30 |
| 市町村国際協力担当課 | 41 | 35 | 35 | 111 |
| 県国際交流協会 | 25 | 25 | 25 | 75 |
| 市国際交流協会(各5) | 富山市、高岡市、氷見市(1) 金沢市、小松市 武生市、鯖江市、勝山市(1) 福井市(1) | | | 33 |
| NGO | 13 | 35 | 25 | 79 |
| マスコミ | | | | 46 |
| 県立・市立図書館 | (県10×1・20×3、市20×4) | | | 150 |
| 3県高校 | 64 | 66 | 41 | 171 |
| 3県中学校 | 87 | 109 | 77 | 273 |
| 広報関係 | 国際交流ラウンジ 国際交流嶺南センター 3県高国教会長 名古屋国際交流センター 海外日系人協会 | | | 5 5 3 1 1 |
| 研修員受入先 | 金工大 石川テレビ報道制作部 金大 福井県立大学 富山県国際大学 富山県工業技術センター 富山県医科薬科大学 コマツ・キャリア・クリエイト 石川県観光連盟 | | | 1 1 1 1 1 1 1 1 1 |
| 青年招へい受入団体 | 石川県ユースホステル協会 小松青年会議所 富山県世界青年友の会 | | | 1 1 1 |
| 富山県JOCV育てる会会長 | | | | 1 |
| 石川県JOCV支援する会会長 | | | | 1 |
| 天野さん | | | | 1 |
| 北本さん | | | | 1 |
| 国会議員 | | | | 4 |
| 3県外高校教師海外研修参加者 | | | | 10 |
| JICE | 広報部・研修管理部・国際交流部 | | | 3 |
| JOCA | | | | 1 |
| 国際協力出版会 | | | | 3 |
| 国際交流プラザ | | | | 1 |
| JICA本部・国内機関 | | | | 156 |
| 原稿執筆者 | | | | 9 |
| 支部スタッフ | | | | 12 |
| 小計 | | | | 1675 |
| 支部残 | | | | 25 |
| 計 | | | | 1700 |

| 番号 | タイトル | 内容・備考 | 分 | 年 | 製作者 |
|-----------|--|--|-----|------|--------------------|
| JICA一般 | | | | | |
| J-1-1~2 | 地球の明日を見つめて —JICAは今— | プロ技/JOCV/個別派遣専門家 | 21 | 1990 | ワイズ・ワーク |
| J-1-3 | 地球の明日を見つめて | ダイジェスト版 | 15 | 1990 | 同上 |
| J-1-4 | FOR THE FUTURE OF THE EARTH ~JICA NOW~ | 英語版 | 21 | 1991 | |
| J-2 | JICA24時間 | (改訂版) プロ技/専門家/研修員/青年招へい/JOCV /開発青年/移住 | 20 | 1982 | 電通 |
| J-3-1~2 | OSAKA発 地球市民の国際協力 | | | | 大阪TV |
| J-4-1~2 | JICA最前線 | プロ技(タイ) | 25 | 1992 | NHK.E |
| J-4-3 | FRONT LINE OF JICA | 英語版 | 22 | 1992 | |
| J-5-1~2 | 技術協力40年 人づくり国づくり心のふれあい | ODA40周年・JICA20周年記念 国際協力の歴史: 研修員/青招/シニア専/開発調査/プロ技/JOCV | 17 | 1994 | NHK.E |
| J-6 | JICA設立20周年記念式典 はばたけ、明日へ! | 式典記録ビデオ ダイジェスト5分・本編65分 | 70 | 1994 | |
| J-7-1~2 | JICA医療協力最前線 | ネパール・ケニア・タイのプロジェクト | 35 | 1994 | NHK.E |
| J-8-2~3 | 約束 —アフリカ木と緑— | (アニメ) プロ技(植林)/専門家 | 16 | 1987 | 核映商社 |
| J-9 | OIC世界を結ぶゆいま〜る | 沖縄国際センター(OIC)設立10周年 OIC業務紹介 | 10 | 1996 | OIC |
| J-10 | 世界に扉を開けて(総合編) | 自治体対象。国際協力の意義とJICAとの連携事例。 | 18 | 1996 | |
| J-11 | 世界に扉を開けて(国内事業編) | 自治体実務者対象。連携方法・手続き。 | 24 | 1996 | |
| J-12 | 世界に扉を開けて(海外事業編) | 個別専門家派遣事業、プロ技協力 | 33 | 1996 | |
| J-13-2~3 | それぞれの地平線 国際協力は、今... | 社会林業訓練(3~7)・公衆衛生(プログラム)・三角協力(カオタイ) 一般対象:プロ技/JOCV(ナレーション:中嶋朋子) | 24 | 1996 | 日本 シネセル |
| J-14 | 沖縄世界を結ぶゆいま〜る | H8.10.27放送 青年海外協力隊募集 | | | 沖縄 テレビ |
| J-15 | 国際協力にかける情熱 | 新卒採用セミナー用 | 24 | 1997 | JICE |
| J-16 | New Horizon For All —JICA and International Cooperation Today— | J-13「それぞれの地平線 国際協力は、今...」英語版 | 24 | 1997 | 日本 シネセル |
| J-17 | 世界に広がる 【いちゃりば兄弟(ちよ〜で)】 | 沖縄国際センター(OIC)業務紹介 | | 1997 | |
| J-18 | 国際協力 | 政府広報劇場用CF | | 1997 | |
| 青年海外協力隊 | | | | | |
| 協-1 | 鯉よ大瀑布をのぼれ | NHK特集 養殖・生態調査 | 50 | 1988 | NHK |
| 協-3-1~3 | 海外協力の現場から | 保守・操作用 | 32 | 1988 | ワイズ・ワーク プロダクション |
| 協-3-4~5 | 海外協力の現場から | 水産編 | 32 | 1988 | 同上 |
| 協-3-6~7 | 海外協力の現場から | 農林編 | 33 | 1988 | 同上 |
| 協-3-8~9 | 海外協力の現場から | 土木建築編 | 30 | 1990 | 同上 |
| 協-3-10 | 海外協力の現場から | 保健衛生編 | 30 | 1990 | 同上 |
| 協-3-11 | 海外協力の現場から | 教育文化編 | 30 | 1990 | 同上 |
| 協-3-12~14 | 海外協力の現場から | スポーツ編 | 30 | 1990 | 同上 |
| 協-4 | 我ら地球人 | フィリピン隊員の洗濯板普及とケニアの緑のプロジェクト | 25 | 1988 | NHK.E |
| 協-5-1 | この人々と共に | | | | |
| 協-5-2 | TOGETHER | 上記英語版 | | | |
| 協-6 | 自立発展という名の木を植えよう —国際協力の現場から— | | | | |
| 協-7-1~2 | ヒマラヤの赤い自転車 | 小泉今日子主演映画 | 120 | 1992 | |
| 協-8 | 途上国のあした、世界でこんには「 クルマはほくらで走るのです」 | ケニア | 30 | 1974 | TBS |

| | | | | | |
|----------|---|--|-----|------|---------------|
| 協-9-1~2 | 青年海外協力隊 いい関係編 | 隊員募集 TVCM用スポット | 15冊 | | |
| 協-10-1~3 | 青年海外協力隊 | | 15 | | |
| 協-11-1~4 | 青春の大地 | 音楽：坂本龍一 トーナ：森本レオ | 20 | | |
| 協-12 | 青年海外協力隊員の社会保険関係の取扱 | | | | |
| 協-13 | 心をつなぐ地球人 30周年を迎えた青年海外協力隊 | 協力隊の概要・歴史 | 10 | 1995 | |
| 協-14 | ネパールの神々に遭った娘たち | フジテレビ「トキメク日本人」看護婦 | 23 | 1974 | フジTV |
| 協-15-1~2 | バングラデシュの大地に | | 45 | 1980 | |
| 協-16 | お村の森に童謡が聞こえる | 日テレ「世界にかけ橋」幼稚園教諭 | 25 | 1981 | 日本TV |
| 協-17 | 若い力(東南アジア編) | | 30 | 1971 | 毎日映画社 |
| 協-18 | バオバブの繁る大地で | 日テレ「あすの世界と日本」タンザニア | 50 | 1986 | 日本TV |
| 協-19 | 舞台はアフリカ青春賛歌 | | 50 | 1988 | TV朝日 |
| 協-20 | わが青春のラテンアメリカ | | | | |
| 協-21-1~2 | アンデスの嶺のもとで | 日テレ「世界にかけ橋」ボリビアへの医療協力 | 35 | 1982 | 日本TV |
| 協-22 | 青年海外協力隊 発足30周年記念式典 | 式典・レセプション | 150 | 1996 | |
| 移住 | | | | | |
| 移-1 | 青春のハーベスト -海外開発青年制度紹介- | 南米各国で活躍する開発青年を紹介 | 30 | 1991 | ネットビデオ |
| 移-2 | ビバ！ラテンワールド'92 -海外開発青年の現地生活- | ブラジル | | | |
| 移-3 | 南風 -JICAの移住事業は今- | | | | |
| 移-4 | LANDS ON YOUR CHOICE -よりよき明日をめざして- | カナダ・オーストラリア移住紹介映画 合併編 | 17 | 1997 | |
| 移-5-1~2 | 架け橋をささえて 日系社会青年ボランティア | 募集広報用 | 24 | 1997 | |
| 移-6 | 架け橋をささえて 日系社会シニアボランティア | | 22 | 1997 | |
| 派遣事業部 | | | | | |
| 派-1 | シニア-協力専門家紹介 | 「モニングワイド」「イブニング」「東京ワイド」「ビジネスワイド」 | 30 | | NHK ネットワイド |
| 派-2 | シニア-協力専門家派遣事業 「豊かな経験を途上国に」 | | 30 | 1993 | |
| 派-3 | あざやかなシニアたち -途上国に新たな人生を- | シニアボランティア | | 1996 | 毎日映画社 |
| 研修事業部 | | | | | |
| 研-1 | 21世紀への友情 -アセアン青年招へい事業- | | 30 | | 桜映画社 |
| 研-2 | ふれあい -ホームステイによる国際交流- | | 31 | | 桜映画社 |
| 研-3 | Memorable Encounters -Toward Friendship and Understanding- | 英語版 | 20 | | |
| 研-4 | ひろがれ！友情の輪 -青年招へい事業- | 1万人目のワイルド人医師・農業研究員ホームステイ/総裁インタビュー | 20 | 1993 | |
| 研-5 | 国造りは人造りから -研修員受入れ- | 改訂版 | | 1997 | 毎日映画社 |
| 研-6 | ひろがれ！友情の輪 -青年招へい事業- | 95年改訂版 1万人目の比人医師・農業研究員ホームステイ/総裁インタビュー | 20 | 1995 | |
| 研-7 | 高校教師海外研修 1998.7.30-8.10 メキシコ・エルサルヴァドル班 | | 22 | 1998 | |
| JICA投融資 | | | | | |
| 投-1-1 | 海外事業へのチャレンジ JICAの投融資制度 | 林業開発編：日本バラウツド(株) | 20 | 1991 | |
| 投-1-2 | 海外事業へのチャレンジ JICAの投融資制度 | 林業開発編：日本バラウツド(株) | 30 | 1991 | |
| 投-1-3 | 海外事業へのチャレンジ JICAの投融資制度 | 社会開発編：福岡地所(株) | 30 | 1991 | |

| | | | | | |
|--------------|-----------------------------------|---|-----|------|-------------------|
| 授-1-4 | 海外事業へのチャレンジ JICAの投融資制度 | 鉱工業開発編：横浜ゴム（株） | 30 | 1991 | |
| 授-1-5 | 海外事業へのチャレンジ JICAの投融資制度 | 農業開発編：はこねフローリスト | 30 | 1991 | |
| 授-1-5 | 海外事業へのチャレンジ JICAの投融資制度 | | 30 | 1991 | |
| 国際協力総合研修所 | | | | | |
| 総研-1 | 開発と環境 ～緑と水と大地、そして人間～ | | | | |
| 総研-2 | 国際研設立10周年シンポ「日本の 国際協力が今問われるもの」 | | 90 | | |
| 総研-3-1 ～2 | 私たちのビデオレポート ～国際協力の現場から～ | フィリピン・マレーシアの専門家／シニア専/JOCV | 27 | 1994 | 電通 |
| 総研-3-3 | 私たちのビデオレポート ～国際協力の現場から～ | JOCVカット版 | 19 | 1994 | 電通 |
| 総研-4 | ようこそIFICへ 平成6年（1994）年作品 | | 119 | | |
| 国際緊急援助隊 | | | | | |
| JDR-1 | 世界への貢献 ～国際緊急援助隊・JDR～ | | 21 | 1994 | |
| JDR-2 | 日本の温もりを届けて ～JICA民間緊急物資輸送～ | 97イラン地震災害 毛布の輸送/ 北陸支部・とやま国際センター・新渡国際化推進協議会 | 11 | 1997 | 日本テレビ ビデオ |
| 外務省 | | | | | |
| 外-1 | 脅迫！その時、あなたは… | | 21 | 1993 | |
| 外-2-1～4 | 地球号SOS | （アニメ）地球環境問題 | 20 | 1992 | 松映画社 |
| 外-3 | 開発途上国ってどんな国？ ～小さな友情から大きな夢へ～ | （アニメ）専門家/JOCV | 20 | 1990 | 日本視聴覚 教材センター |
| 外-4 | 子どもたちの未来のために ～ポリオ根絶をめざして～ | バングラデシュ | 23 | 1996 | 日本テレビ ビデオ |
| 外-5 | 21世紀に向けて ～明日を見ずえたODA～ | NGO・ODA・青年海外協力隊・環境等、国際協力の現場の 紹介 | 23 | 1997 | インフォ |
| 外-6 | ODAって何だろう？ ～政府開発援助の現場から～ | ODA（グアテマラ、エルサルバドルでのプロジェクト） を紹介。開発教育教材。 | 23 | 1998 | 日本テレビ ビデオ |
| 外-7 | アフリカの人々と共に ～日本のODA活動～ | | | 1998 | |
| アジア | | | | | |
| 亜-1 | ミナ笑顔 | （アニメ）マレーシアの識字教育（声 アリス・ヤン） | 16 | | アスコ・アジア 文化センター |
| 亜-2 | アジアのうねり | 在日外国人としてのフィリピン研修生とフィリピン/NGO | 20 | 1992 | APIC |
| 亜-3-1～2 | ベトナム・红河のほとりで フィリピン村のお母さん 女性の役割 | （ガイドブック付）WID 開発教育教材 | | 1995 | 国際開発交 流センター |
| 亜-4-12 | 都市と水 | フィリピン水資源開発（財）国際開発高等教育機構 | 23 | 1992 | 松映画社 |
| 亜-5 | 忘れられた子供たち | フィリピン・スカベンジャー | 102 | 1995 | オフィス・ フォー |
| アフリカ | | | | | |
| A-1 | この手で未来を ～ケニアの女たち～ | | 27 | 1992 | |
| A-2 | アフリカ大好き！ | （ガイドブック付）対比7農村の少女の日常 | 20 | 1994 | |
| A-3 | 響けケニアの大地に ～JICAに見る開発と女性～ | | | 1995 | |
| 北陸支部オリジナル等 | | | | | |
| 支-1-1～2 | 国際協力フォーラム | パネルディスカッション編 | 160 | 1992 | |
| 支-1-3～4 | 国際協力フォーラム | 記念講演編 | 120 | 1992 | |
| 支-2-1～4 | ともに生きて学ぶ | | 60 | 1994 | MRO |
| 支-2-5 | ともに生きて学ぶ | 上記ダイジェスト版 | 27 | 1994 | |
| 支-3 | 土曜フォーラム「国際協力あら たなる時代への提言」 | | 75 | 1994 | NHK |
| 支-4 | 子どもバビリオン （ぼくらのジャングル大冒険） | 水野専門家の家族 | | 1990 | NHK |
| 支-5 | ドキュメント日本人 | エチオピア・水野専門家 | | 1979 | フジTV |
| 支-6 | 「ニカラグアの老人ホーム」 | 支部協力隊員ビデオレポート | 30 | 1994 | |

| | | | | | |
|----------|---|--|------|------|-------|
| 支-7 | 安全な飲み水を求めて | | | | |
| 支-8 | 私の国・私の村 ガンガラデシ | NGOシャブラニール制作 | | | |
| 支-9-1~2 | 金沢ビデオマップ | | | | |
| 支-10-1~2 | 金沢 四季のファンタジー | | | | |
| 支-11-1~2 | 金沢 技と芸のファンタジー | | | | |
| 支-12 | 神々の国への国際協力・ 県高校生ネパール体験 | | 1994 | 新潟TV | |
| 支-13 | テレビ金沢得配便 | 矢部JOCVOB出演 | 15 | 1995 | 金沢TV |
| 支-14-1~3 | オンコセルカ症1980 | 近藤専門家参加プロジェクト 8ミリのダビング | 1995 | | |
| 支-15-1~3 | グアテマラ・アンティグア | 8ミリのダビング | 1995 | | |
| 支-16-1~3 | マヤ遺跡 | 8ミリのダビング | 1995 | | |
| 支-17-1~2 | 石川発情熱地球人 途上国で汗 を流す青年海外協力隊員 | ビデオレポートを編集 | 16 | 1995 | 支部 |
| 支-17-3 | 石川発情熱地球人 途上国で汗 を流す青年海外協力隊員 | ロングバージョン | 18 | 1995 | |
| 支-18 | ネパールダンス | JAPAN TENT '94 | | | |
| 支-19 | モンゴル紹介 | モンゴル語 モンゴ*音楽・モンゴ*相撲 | | | |
| 支-20-1~2 | 地球にやさしい石川人 ~いしかわの青年海外協力隊~ | 96.4.14~5.12放映5分スポット5本 石川県JOCV | 25 | 1996 | TV金沢 |
| 支-21 | 地球にやさしい石川人 ~いしかわの青年海外協力隊~ | 96.4.14~5.12放映5分スポット5本を1本に編集 支部長インタビュー/OB会/支援する会/留守家族会/ 駒ヶ根訓練所 | 25 | 1996 | TV金沢 |
| 支-22-1~4 | 福井発!地球人 | 96.10.19~11.16放送 | 1996 | | 福井放送 |
| 支-23-1~6 | 地球にやさしい石川人 ~いしかわの青年海外協力隊~ | 96.10.21~11.18 放送 1~5話ダイジェスト | 25 | 1996 | TV金沢 |
| 支-24 | 第16回全国豊かな海づくり大会 | | | | |
| 支-25 | National Trade and Cultural Show 1996 -Solomon Island Now- | ソロモン諸島の民族ショー | 120 | 1996 | |
| 支-26-1~2 | 君の心が熱くなる | 96年放送 (富山県のJOCV) | 1996 | | 富山テレビ |
| 支-27-1~2 | 国際協力にかける地球人 | 97.10.18~11.15 (5回放送) 石川県の西田さんとJOCV | 25 | 1997 | テレビ金沢 |
| 支-28 | Let's go to school | 塗田JOCVOB (ソロモン諸島・視聴覚教育) 制作 | 1996 | | |
| 支-29 | 流転 ~南米へ渡った民の記録~ | | 85 | 1996 | 石川TV |
| 支-30 | 97国際交流ジャンボリー・イン福井 | | 1997 | | |
| 支-31-1~2 | 福井発!地球人 No.1 国際協力事業団 | 1996.10.19 放送 | 5 | 1996 | |
| 支-32 | 福井発!地球人 No.2 「80日間で不安解消」 | 1996.10.26 放送 | 5 | 1996 | |
| 支-33 | JICA特番 異国の笑顔に会いたくて | 1998.10.10~ 放送 | 1998 | | |

ビデオ貸出を希望する方は、国際協力事業団北陸支部
〒920-0853 金沢市本町1-5-3 リファール3F
(076-233-5931/FAX5959)まで(担当 永野)

JICA北陸支部所蔵パネル一覧

99.3.31

| 管理番号 | パネル名 | 種別 | 枚数 | サイズ | 製作年 | 備考 |
|----------------|-------------------|----------|----|------------|------|------------------|
| J1 -001~013 | JICA事業説明 | 文字 | 13 | B1 | H5 | |
| -014~ | JICA事業説明(改訂版) | 〃 | 13 | 〃 | H8 | |
| 環 -001~010 | 環境対策・保全プロジェクト | 〃 | 10 | 〃 | H5 | |
| 専 -001~012 | 災害(地震・干ばつ)、難民医療活動 | 文字 写真 | 2 | 全紙 | H6 | 文字2 写真10 |
| 専石 -001~012 | 国際協力専門家活動風景:石川出身 | 〃 | 9 | 〃 | 〃 | |
| 専福 -001~009 | 国際協力専門家活動風景:福井出身 | 〃 | 9 | 〃 | 〃 | |
| 協 -001~005 | JOCV事業説明 | 文字 | 5 | 全紙 | H5 | |
| -006~015 | 同上 | 〃 | 10 | B1 | H7 | |
| 協訓 -001~004 | JOCV派遣前訓練風景 | 写真 | 4 | 全紙 | H5,6 | |
| 協ニ -001~014 | 国際フォトニュース | 文字 | 2 | A2 B2 | H8 | A2・2枚 B2 ・12枚 |
| 協石 -001~002-94 | 石川県出身JOCV派遣実績 | 〃 | 2 | B1 | H5,6 | |
| -003~006-94 | JICA北陸支部・石川県OB会活動 | 写真 | 4 | 全紙 | 〃 | |
| -007~068-94 | 石川県出身JOCVOB活動風景 | 〃 | 58 | 〃 | 〃 | |
| -069 -94 | 石川県出身JOCV派遣実績 | 文字 | 1 | B1 | H6 | |
| -001~007-95 | 石川県出身JOCVOB活動風景 | 写真 | 7 | 全紙 | H7 | |
| -001~023-96 | 〃 | 〃 | 23 | 〃 | H8 | |
| 協富 -001~020-94 | 富山県出身JOCVOB活動風景 | 〃 | 20 | 〃 | H6 | 富山県OB会 貸出中 |
| -021 -94 | 富山県出身JOCV派遣実績 | 文字 | 1 | 〃 | 〃 | 〃 |
| -022~027-94 | 富山県出身JOCVOB活動風景 | 写真 | 6 | 〃 | 〃 | 〃 |
| -001~006-95 | 〃 | 〃 | 6 | 〃 | H7 | 〃 |
| -001~016-96 | 〃 | 〃 | 16 | 〃 | H8 | 〃 |
| 協福 -001~002-94 | JOCV事業説明・福井県派遣実績 | 文字 | 2 | B1 | H6 | 福井県OB会 貸出中 |
| -003~018-94 | 福井県出身JOCVOB活動風景 | 写真 | 3 | 全紙 | 〃 | 〃 |
| -019 -94 | 福井県出身JOCV派遣実績 | 文字 | 1 | 〃 | 〃 | 〃 |
| -001~004-95 | 福井県出身JOCVOB活動風景 | 写真 | 4 | 〃 | H7 | 〃 |
| -001~009-96 | 〃 | 〃 | 9 | 〃 | H8 | 〃 |
| 開青 -001~020 | 海外開発青年事業説明 | 文字 | 20 | 〃 | H5 | |
| 青招 -001~006 | 青年招へい事業 | 写真 | 6 | 〃 | H6 | |
| 研 --001 | JICA北陸支部受入研修員 | 〃 | 1 | 〃 | 〃 | |
| フ -001~038 | 国際協力フォトコンテスト 入選作 | 〃 | 38 | 大B2 小B3 | H4 | 大18 小20 |
| -039~076 | 〃 | 〃 | 38 | 〃 | H5 | 大18 小20 |
| -077~115 | 〃 | 〃 | 39 | 〃 | H6 | 大18 小21 |
| -116~151 | 〃 | 〃 | 36 | 〃 | H7 | 大16 小20 |
| -152~187 | 〃 | 〃 | 36 | 〃 | H8 | 大18 小18 |
| -188~225 | 〃 | 〃 | 38 | 〃 | H9 | 大18 小20 |
| -226~263 | 〃 | 〃 | 38 | 〃 | H10 | 大18 小20 |

平成10年度 JICAパネル利用状況一覧

| 開催日 | 行事名 | 利用者(主催等) | 開催場所 | パネル種類 |
|-------------|------------------------|-------------------------------|--------------|--|
| 7/9～7/10 | 学校祭展示 | 金沢西高国際交流委員会 | 石川県立金沢西高等学校 | フォトコンテスト(20) |
| 8/5 | JAPAN TENT in KANAZAWA | JAPAN TENT実行委員会 | 金沢市中央公園 | フォトコンテスト(7) |
| 9/1～10/31 | 校内展示 | 金沢市立犀川小学校 | 金沢市立犀川小学校 | フォトコンテスト(18) |
| 9/5～9/6 | 学校祭展示 | 石川県立金沢二水高等学校 | 石川県立金沢二水高等学校 | JOCV事業説明(6) フォトコンテスト(20) |
| 9/26～9/27 | ふくいさくらめきフェスティバル | 福井県21世紀をひらく ふくい女性のつどい実行委員会 | 福井県生活学習館 | フォトコンテスト(34) |
| 10/3～10/4 | 第6回アジア交流まつり | JICA北陸支部 | 金沢市役所前広場 | JOCV現地活動紹介(12) フォトコンテスト(12) |
| 10/10～10/11 | 国際交流フェアフェスティバル98 | JICA北陸支部 | 富山市民プラザ | フォトコンテスト(10) |
| 10/17～10/18 | 国際交流ランパル・IN FUKUI | JICA北陸支部 | 福井県国際交流会館 | JICA事業紹介(5) JOCV事業説明(3) JOCV現地活動紹介(12) JICA派遣専門家活動紹介(5) |
| 10/24～10/25 | 石川県農林漁業祭 | 石川県JOCV支援する会 | 石川県地場産物展示館 | JICA事業紹介(5) JOCV現地活動紹介(5) フォトコンテスト(5) |
| 10/24～10/26 | 98越前若狭産物フェア | JICA北陸支部 | サントーム福井 | JICA事業紹介(7) JOCV事業説明(3) JOCV現地活動紹介(12) JICA派遣専門家活動紹介(4) |
| 11/7～11/15 | 国際交流・協力DAYS | JICA北陸支部 | 石川県国際交流センター | JICA事業紹介(2) フォトコンテスト(30) |
| 11/14 | 国際協力フォーラム IN ISHIKAWA | 石川県JICA派遣専門家OB会 | 金沢市文化ホール | JICA事業紹介(4) JOCV現地活動紹介(6) JICA派遣専門家活動紹介(4) |
| 11/6～12/16 | 校内展示 | 金沢市立犀川小学校 | 金沢市立犀川小学校 | フォトコンテスト(10) |
| 11/10～11/12 | 校内展示 | 七塚町立河北台中学校 | 七塚町立河北台中学校 | JOCV現地活動紹介(2) フォトコンテスト(4) |
| 11/25～12/7 | 校内展示 | 石川県国際理解教育研究協議会 | 金沢市立四十万小学校 | JICA事業紹介(1) 緊急援助隊(1) JOCV現地活動紹介(3) シニア海外ボランティア(3) 留学生へ(1) JOCV-JSS(4) |
| 11/27～12/6 | 国際交流研究授業 児童集会 | 金沢市立西南部小学校 | 金沢市立西南部小学校 | フォトコンテスト(6) |
| 1/9～3/31 | 校内展示 | 金沢市立犀川小学校 | 金沢市立犀川小学校 | フォトコンテスト(10) |
| 2/4～2/14 | 志賀町国際交流協会設立フェア | 志賀町国際交流協会 | 志賀町 | フォトコンテスト(33) |
| 2/15～3/31 | 校内展示 | 美川保育園 | 美川保育園 | フォトコンテスト(5) |

平成10年度「国際協力を考えるヤングフォーラム」高校生対象」実施概要

北陸支部

| 行事名 | 実施月日 | 実施場所 | 対象等 | | 共催・後援等 | 講師等 | 特記事項 |
|---------------------------------------|---------------------------------------|-------------------------|------------|------------|--------------------------|--|--|
| | | | 対象 | 参加人数 | | | |
| (富山県) 国際協力を考えるヤング フォーラム (3回) | 平成11年1月22日 平成11年2月5日 平成11年2月19日 | 富山西高等学校 | 高校生 | 150人 | | 青年海外協力隊OB/OG 楠本 和代(コスタリカ) 野村 信春(タンザニア) 種口 茂(ネパール) | 英語科の外国事情の授業 |
| | 平成10年9月18日 | 魚津工業高等学校 | 高校生 | 40人 | (財)とやま国際交流センター | 青年海外協力隊OB 北林 英高(トンガ) | 体験談 帰国後国際協力 |
| | 平成10年8月26日 | 福光高等学校 | 高校生 | 36人 | | 青年海外協力隊OB 辻林 英高(トンガ) | JOCVに参加した勲然 トンガ人の生活 トンガでの活動 体験談 |
| | 平成11年1月9日 平成11年3月15日 | 福岡高等学校 福岡高等学校 | 高校生 高校生 | 40人 40人 | | 北陸支部国際協力推進員、荒井 北陸支部国際協力推進員、荒井 | |
| 高校生のための国際協力 セミナー | 平成10年7月20日21日 | 五箇山青少年旅行村 | 高校生 一般 | 100人 | (財)とやま国際交流センター 富山県高国協 | 北陸支部国際協力推進員、荒井 青年海外協力隊OB/OG | 合宿セミナー 県内高校 |
| (石川県) | 平成10年11月12日 | 小松市立高等学校 | 高校生 | 203人 | | 青年海外協力隊OG 鈴木 晶子(モロッコ) | 体験談等 |
| ヤングフォーラム | 平成10年11月12日 | 金沢伏見高等学校 | 高校生 | 78人 | | 青年海外協力隊OG 野中 由美子(ネパール) | 体験談等 |
| | 平成10年11月12日 | 輪島高等学校 | 高校生 | 120人 | | 青年海外協力隊OG 木野 美樹(ニチイオビア) | 体験談等 |
| | 平成10年11月12日 | 珠洲実業高等学校 | 高校生 | 42人 | 石川県国際協力協会 | 青年海外協力隊OG 三嶋 省毅(タンザニア) | 体験談等 |
| | 平成10年11月12日 | 北陸大谷高等学校 | 高校生 | 70人 | | 青年海外協力隊OG 三嶋 省毅(タンザニア) | 体験談等 |
| | 平成10年11月12日 | 小松明峰高等学校 | 高校生 | 281人 | | 青年海外協力隊OG 鈴木 晶子(モロッコ) | 体験談等 |
| 二水ライフ21 | 平成10年2月21日 | 金沢二水高等学校 | 高校生 | 50人 | | 研修員、県国際交流員 | 国際交流会 |
| 国際交流合宿 | 平成11年1月23日 | 金沢西高等学校 金沢市ふれあいの里研修館 | 高校生 | 55人 | | 研修員(PNG) | 国際交流合宿 |
| (福井県) なし | | | | | | | |

平成10年度「国際協力を考えるヤングフォーラム」小学、中学生対象」実施概要

北陸支部

| 行事名 | 実施月日 | 実施場所 | 対象等 | | 共催・後援等 | 講師等 | 特記事項 |
|--------------|-------------|-----------|------------|------|--------|-------------------------------|------|
| | | | 対象 | 参加人数 | | | |
| (富山県) 中学生 | 平成10年8月22日 | 砺波市立出町中学校 | 中学生 | 40人 | 学校 | 北陸支部国際協力推進員 青年海外協力隊OG (荒井) | 体験談等 |
| (石川県) 小学生 | 平成10年7月23日 | 金沢市米泉小学校 | 小学生 | 33人 | 学校 | 北陸支部職員 青年海外協力隊OG (横部) | 体験談等 |
| 小学生 | 平成11年2月3日 | 金沢市錦城東小学校 | 小学生 | 48人 | 学校 | 北陸支部職員 青年海外協力隊OG (横部) | 体験談等 |
| 小学生 | 平成11年3月26日 | 長坂台小学校 | 小学生 | 35人 | 学校 | 青年海外協力隊OG (佐道) | 体験談等 |
| 小学生 | 平成11年1月9日 | 木曽野小学校 | 小学生 | 55人 | 学校 | 青年海外協力隊OG (塩野) | 体験談等 |
| 中学生 | 平成10年11月12日 | 鳴和中学校 | 中学生 | 108人 | 学校 | 青年海外協力隊OG (本田) | 体験談等 |
| (福井県) 中学生 | 平成10年8月13日 | 敦賀市栗中学校 | 中学生 | 62人 | 学校 | 青年海外協力隊OG (角野) | 体験談等 |
| 小、中学生 | 平成10年11月9日 | 殿下小、中学校 | 小学生 中学生 | 66人 | 学校 | 青年海外協力隊OG (角野) | 体験談等 |

高校生エッセイコンテスト'98 北陸支部結果一覧

| | | 各 事 項 | |
|-----------|---|---|--------------|
| 応募総数/応募校数 | | 1587点 | 23校 |
| 後援・協力依頼先 | 富山県・富山県教育委員会 石川県・石川県教育委員会 福井県・福井県教育委員会 | | |
| 準特選 | 氏名(学年) | | 学校名 |
| | 林 香織 (3) | | 高岡第一高等学校 |
| 審査員特別賞 | 石井麻由子 (3) | | 富山県立大門高等学校 |
| 優秀賞 | 吉岡 学 (3) | | 富山県立井波高等学校 |
| | 山田 律子 (3) | | 富山県立砺波高等学校 |
| 入選 | 木村純 (1)・高橋要史子 (2)・鈴木可子 (3) | | 高岡第一高等学校 |
| | 定村浩美 (1) | | 富山県立高岡南高等学校 |
| | 伊田真実子 (1)・石坂知子 (1) 越坂美雪 (1)・山崎美鈴 (1)・同村奈津子 (3) | | 金沢高等学校 |
| | 加賀亜矢子 (3) | | 石川県立七尾農業高等学校 |
| | 栗山京子 (3) | | 北陸学院高等学校 |
| | 木原由衣 (2)・大塚浩子 (2) | | 福井県立武生東高等学校 |
| | 小畑友里江 (1) | | 福井県立美方高等学校 |
| | 小川瑠美 (3) | | 福井県立高志高等学校 |
| 支部特別賞 | 浅山康子 (3)・渋谷暁 (3)・土谷真美 (3) 舟瀬晴子 (3)・森田朋美 (3)・山田仁美 (3) | | 高岡第一高等学校 |
| | 川辺真梨子 (1)・森永智子 (1) 宮崎春絵 (1)・宮田憲子 (1)・安元麻衣子 (1) | | 富山県立高岡南高等学校 |
| | 白石裕子 (3) | | 富山県立富山東高等学校 |
| | 佐々木まい (2) | | 富山県立魚津高等学校 |
| | 升田美喜子 (1)・伊藤滋子 (2) 大野恭代 (3)・中谷那津美 (3) | | 石川県立金沢北陵高等学校 |
| | 石戸ゆり (1)・橋本沙織・青森亮子 | | 金沢高等学校 |
| | 岩坪亜弥 (2)・平井亜希子 (2)・山下幸 (2) | | 石川県立金沢西高等学校 |
| | 本藤英樹 (1) | | 石川県立七尾農業高等学校 |
| | 池田祥 (2)・内田尚見 (2)・小林 未歩 (2) 津々美奈穂 (2)・先織さや香 (2)・早川明日香 (2) | | 福井県立武生東高等学校 |
| | 中村明日美 (1)・藤原ちひろ (1)・吉田茂生 (1) | | 福井県立美方高等学校 |
| | 高田いづみ (2) | | 福井県立盲学校 |
| 学校賞 | 高岡第一高等学校 金沢高等学校 石川県立北陵高等学校 福井県立美方高等学校 | 富山県立高岡南高等学校 石川県立金沢西高等学校 石川県立七尾農業高等学校 福井県立武生東高等学校 | |

中学生エッセイコンテスト'98 結果一覧表

北陸支部

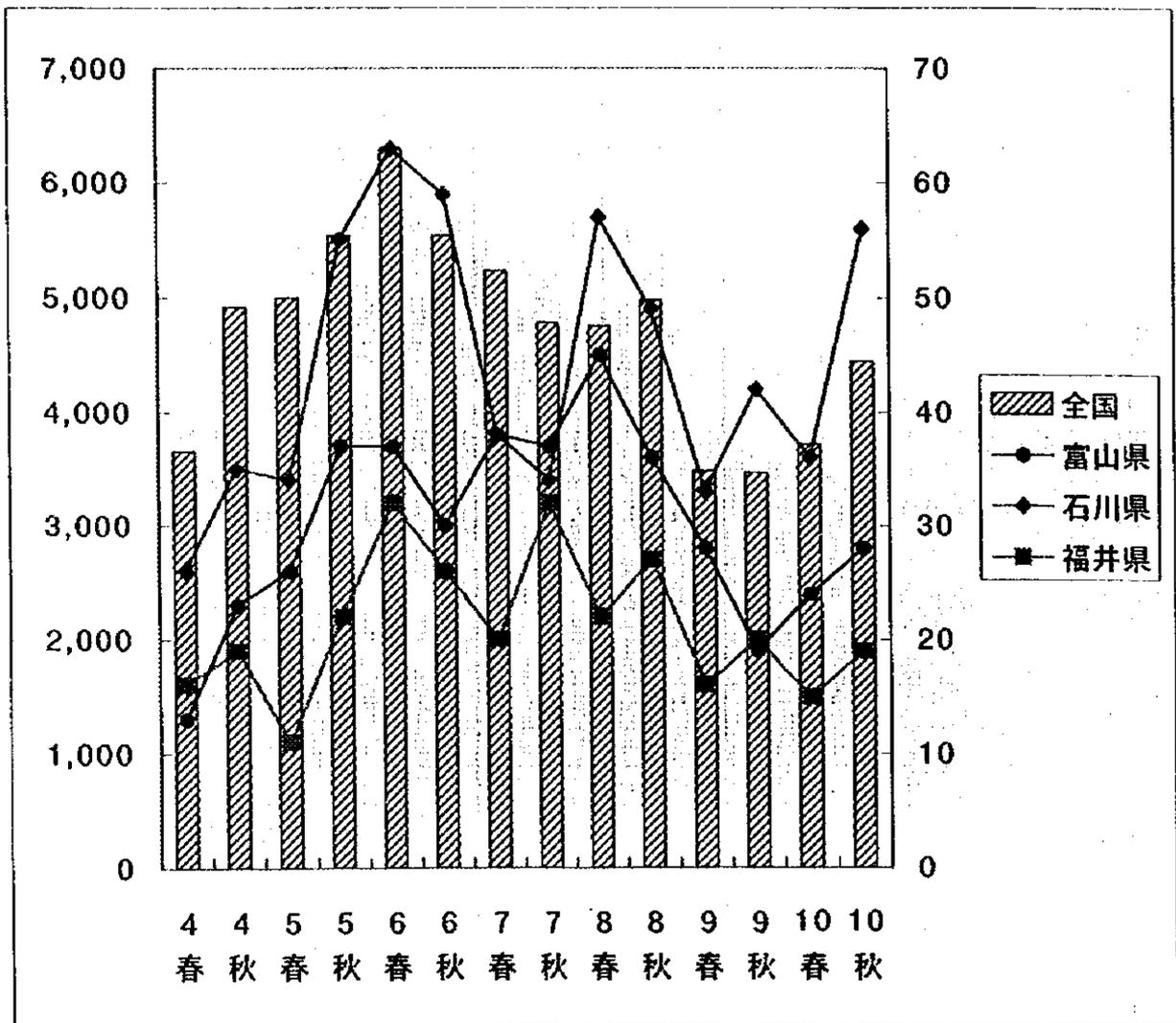
| | | |
|---------------------------|----------------------------------|---------------|
| 応募総数 | 125作品 | 35校 |
| 後援 | 富山県教育委員会 石川県教育委員会 福井県教育委員会 | |
| 審査員特別賞 | 氏名(学年) | 学校名 |
| | 高嶋 郁子(2年) | 福井大学教育学部附属中学校 |
| 北陸支部長賞 | 氏名(学年) | 学校名 |
| | 木引 美穂(2年) | 新湊市立新湊西部中学校 |
| JOCA (青年海外協力協会) 会長賞 | 氏名(学年) | 学校名 |
| | 染田 美喜(3年) | 金沢市立緑中学校 |
| 学校賞 | 学校名 | 校長名 |
| | 金沢市立緑中学校 | 江川 正晃 |

国際協力関連定期刊行誌（支部受領分）一覽表

| 番号 | 雑誌名 | 総部数 | 配布数 | 発行形態 | 担当 |
|----|--------------------------|-----|-----|------|---------------------|
| 1 | 国際協力 | 50 | 37 | 月刊 | 総務部広報課 |
| 2 | クロスロード | 25 | 16 | 月刊 | 青年海外協力隊事務局 |
| 3 | KAIGAIJU | 30 | 19 | 隔月 | 移住事業部 |
| 4 | 移住家族 | 20 | 19 | 月刊 | (社) 日本海外移住家族会連合会 |
| 5 | JICA JDR NEWS | 50 | 22 | 年2回 | 国際緊急援助隊事務局 |
| 6 | JICAサテライト | 50 | 47 | 隔月 | 総務部広報課 |
| 7 | DEAR FRIENDS | 10 | 8 | 年2回 | 研修事業部青年招へい課 |
| 8 | JICA NEWS LETTER | 25 | 18 | 隔月 | 総務部広報課 |
| 9 | 世界の動き | 25 | 15 | 月刊 | 編集；外務省 発行；世界の動き社 |
| 10 | 国際開発ジャーナル | 5 | 4 | 月刊 | 国際開発ジャーナル社 |
| 12 | 国際協力プラザ | 13 | 12 | 月刊 | 国際協力推進協会 |
| 13 | 海外緊急援助 | 50 | 22 | | |
| 14 | 我が国の政府開発援助 ODA白書（日本語） | 40 | 37 | 年1回 | (財) 国際協力推進協会 |
| 15 | 我が国の政府開発援助 ODA白書（英語） | 5 | 3 | 年1回 | (財) 国際協力推進協会 |
| 16 | 国際協力事業団年報 （日本語） | 350 | 295 | 年1回 | 総務部広報課 |
| 17 | 国際協力事業団年報 （英・仏・西） | 各5 | 各3 | 年1回 | 総務部広報課 |

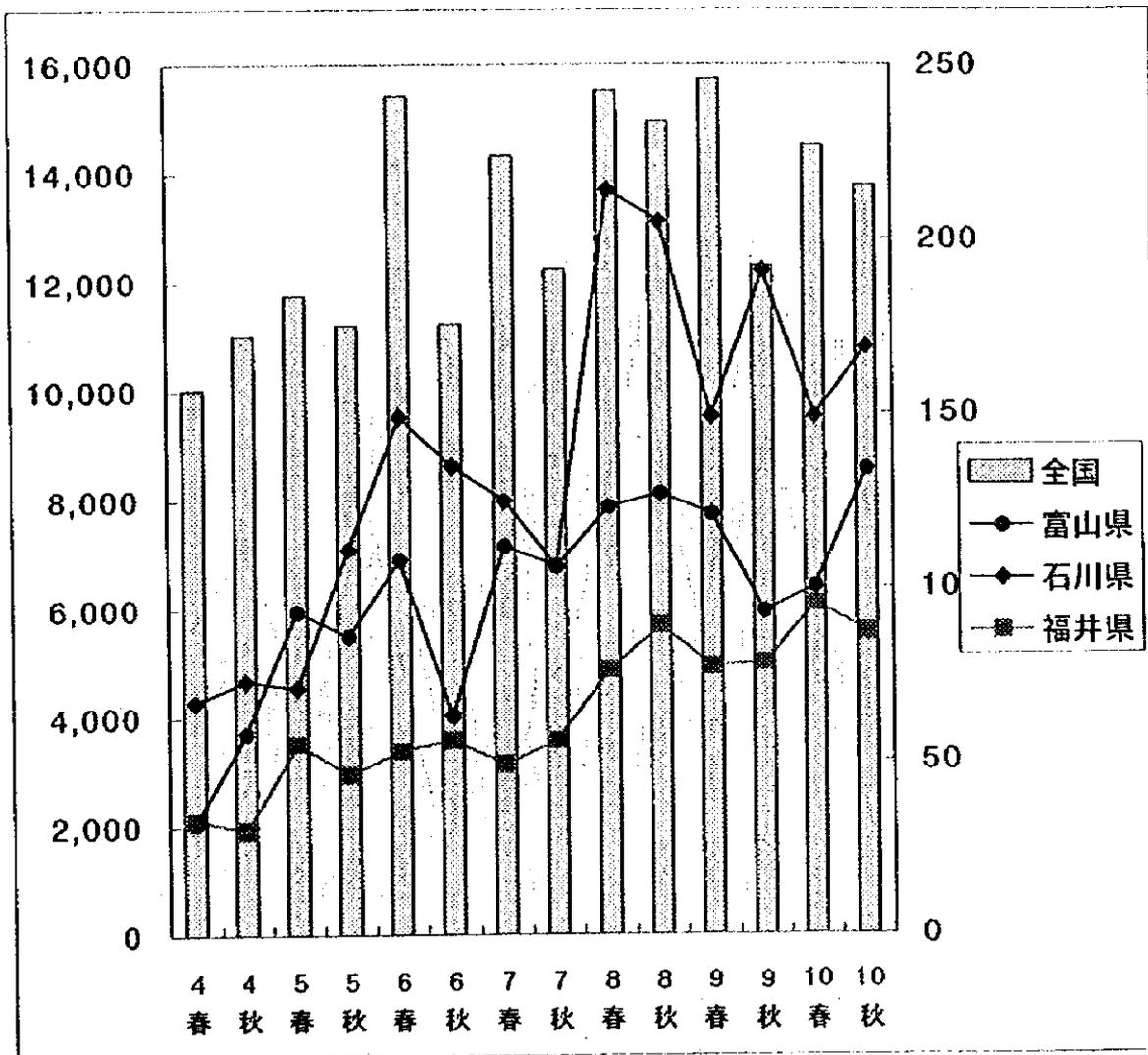
青年海外協力隊年度別応募者推移

| 募集時期 | 全国 | 富山県 | 石川県 | 福井県 | 3県合計 |
|------|-------|-----|-----|-----|------|
| 4春 | 3,653 | 13 | 26 | 16 | 55 |
| 4秋 | 4,914 | 23 | 35 | 19 | 77 |
| 5春 | 4,993 | 26 | 34 | 11 | 71 |
| 5秋 | 5,531 | 37 | 55 | 22 | 114 |
| 6春 | 6,301 | 37 | 63 | 32 | 132 |
| 6秋 | 5,529 | 30 | 59 | 26 | 115 |
| 7春 | 5,230 | 38 | 38 | 20 | 96 |
| 7秋 | 4,778 | 37 | 34 | 32 | 103 |
| 8春 | 4,745 | 45 | 57 | 22 | 124 |
| 8秋 | 4,971 | 36 | 49 | 27 | 112 |
| 9春 | 3,475 | 28 | 33 | 16 | 77 |
| 9秋 | 3,458 | 19 | 42 | 20 | 81 |
| 10春 | 3,712 | 24 | 36 | 15 | 75 |
| 10秋 | 4,439 | 28 | 56 | 19 | 103 |



青年海外協力隊年度別参集者推移

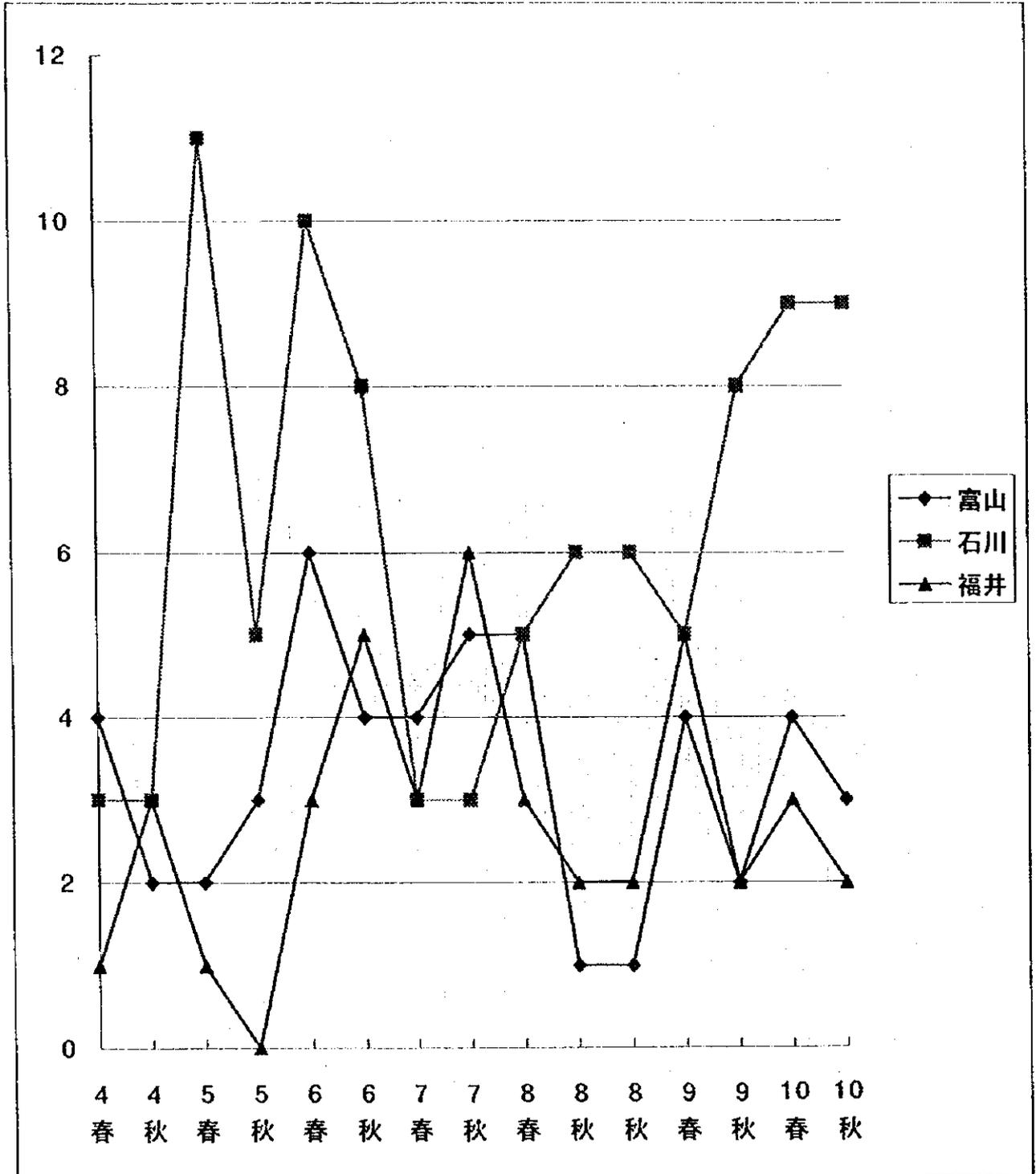
| 募集時期 | 全国 | 富山県 | 石川県 | 福井県 | 3県合計 |
|------|--------|-----|-----|-----|------|
| 4春 | 10,016 | 32 | 67 | 33 | 132 |
| 4秋 | 11,015 | 58 | 73 | 30 | 161 |
| 5春 | 11,753 | 93 | 71 | 55 | 219 |
| 5秋 | 11,203 | 86 | 111 | 46 | 243 |
| 6春 | 15,411 | 108 | 149 | 53 | 310 |
| 6秋 | 11,234 | 63 | 135 | 56 | 254 |
| 7春 | 14,335 | 112 | 125 | 49 | 286 |
| 7秋 | 12,251 | 106 | 106 | 56 | 268 |
| 8春 | 15,503 | 123 | 214 | 76 | 413 |
| 8秋 | 14,941 | 127 | 205 | 89 | 421 |
| 9春 | 15,732 | 121 | 149 | 77 | 347 |
| 9秋 | 12,291 | 93 | 191 | 78 | 362 |
| 10春 | 14,494 | 100 | 149 | 95 | 344 |
| 10秋 | 13,783 | 134 | 169 | 87 | 390 |



資料13

青年海外協力隊合格者数推移(人)

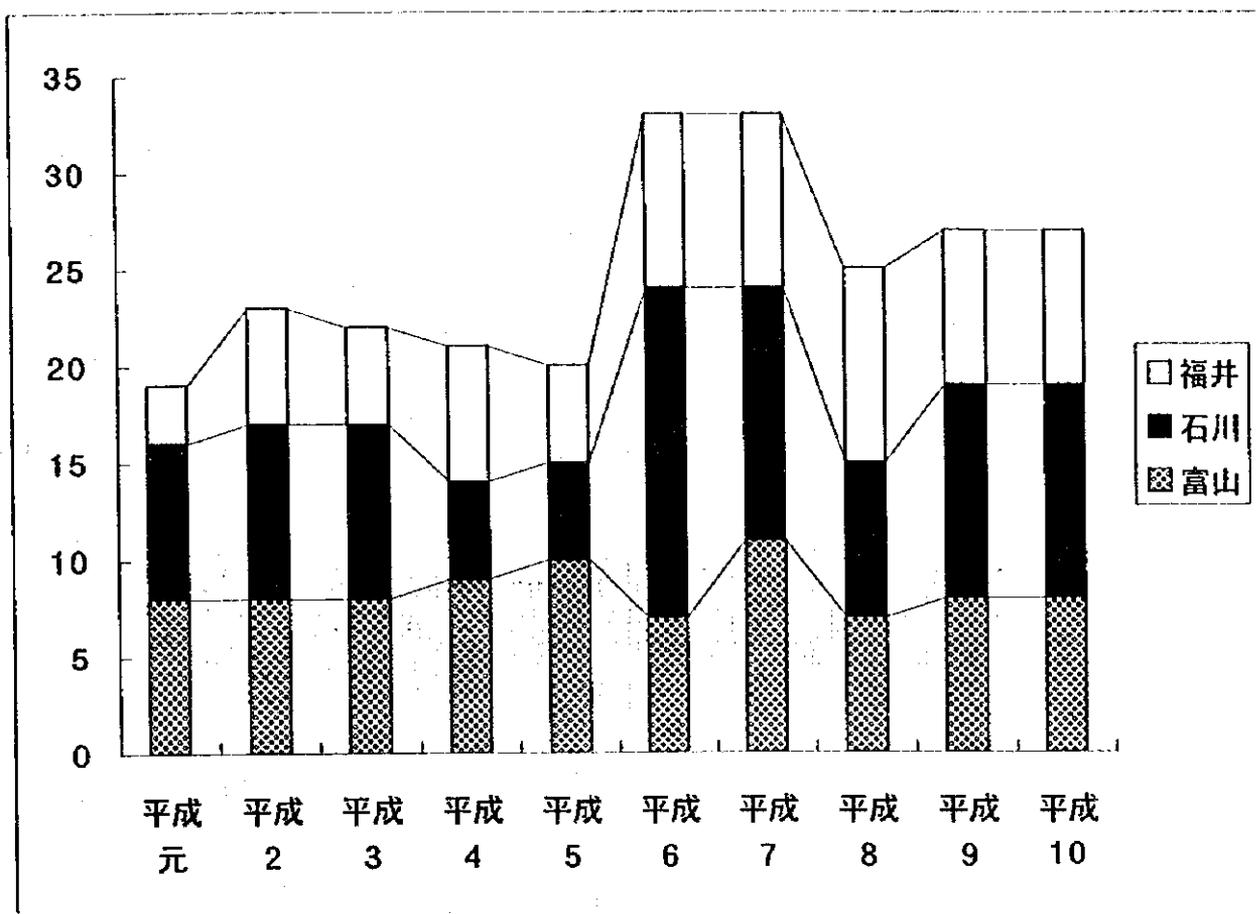
| | 4春 | 4秋 | 5春 | 5秋 | 6春 | 6秋 | 7春 | 7秋 | 8春 | 8秋 | 9春 | 9秋 | 10春 | 10秋 | 合計 |
|----|----|----|----|----|----|----|----|----|----|----|----|----|-----|-----|----|
| 富山 | 4 | 2 | 2 | 3 | 6 | 4 | 4 | 5 | 5 | 1 | 4 | 2 | 4 | 3 | 49 |
| 石川 | 3 | 3 | 11 | 5 | 10 | 8 | 3 | 3 | 5 | 6 | 5 | 8 | 9 | 9 | 88 |
| 福井 | 1 | 3 | 1 | 0 | 3 | 5 | 3 | 6 | 3 | 2 | 5 | 2 | 3 | 2 | 39 |



資料14

青年海外協力隊北陸3県派遣実績（平成11年3月現在）

| 県名 | 昭40~63 | 平成元 | 平成2 | 平成3 | 平成4 | 平成5 | 平成6 | 平成7 | 平成8 | 平成9 | 平成10 | 合計 |
|----|--------|-----|-----|-----|-----|-----|-----|-----|-----|-----|------|-----|
| 富山 | 88 | 8 | 8 | 8 | 9 | 10 | 7 | 11 | 7 | 8 | 8 | 172 |
| 石川 | 81 | 8 | 9 | 9 | 5 | 5 | 17 | 13 | 8 | 11 | 11 | 177 |
| 福井 | 62 | 3 | 6 | 5 | 7 | 5 | 9 | 9 | 10 | 8 | 8 | 132 |
| 合計 | 231 | 19 | 23 | 22 | 21 | 20 | 33 | 33 | 25 | 27 | 27 | 481 |



*データは一般、短期緊急、振替を含む。

青年海外協力隊員国別派遣実績（北陸3県）

平成11年2月現在

| | 富山県 | | 石川県 | | 福井県 | | 北陸支部合計 | | |
|----------------|----------|----|-----|----|-----|----|--------|-----|----|
| | | 女 | | 女 | | 女 | | 女 | |
| <アジア地域> | インドネシア | 10 | 5 | 7 | | 9 | 1 | 26 | 6 |
| | タイ | 1 | | 1 | | | | 2 | |
| | マレーシア | 1 | 1 | 2 | | | | 3 | |
| | 中国 | 6 | 4 | 1 | 1 | 2 | 1 | 9 | 6 |
| | インド | | | | | 2 | | 2 | |
| | インドネシア | 2 | | 1 | | 3 | | 6 | |
| | タイ | 5 | | 9 | 3 | 3 | 1 | 17 | 4 |
| | マレーシア | 8 | 3 | 10 | 3 | 4 | 1 | 22 | 7 |
| | インドネシア | 1 | | 2 | | | | 3 | |
| | タイ | 9 | 4 | 8 | 5 | 9 | 4 | 26 | 13 |
| | マレーシア | 8 | 4 | 3 | 1 | 7 | 1 | 18 | 6 |
| | インドネシア | 1 | | 3 | 2 | 3 | 3 | 7 | 5 |
| タイ | 3 | 2 | 1 | 1 | 1 | | 5 | 3 | |
| <中近東> | シリア | 3 | 2 | 1 | | 1 | | 5 | 2 |
| | イラン | 10 | 2 | 6 | | 7 | 1 | 23 | 3 |
| | シリア | 5 | 2 | 5 | 1 | 1 | | 11 | 3 |
| | イラン | 2 | 1 | 2 | 1 | | | 4 | 2 |
| <アフリカ地域> | ボツワナ | 1 | | | | | | 1 | |
| | タンザニア | | | 5 | | | | 5 | |
| | ナイジェリア | 8 | 2 | 4 | | 5 | 1 | 17 | 3 |
| | ケニア | 7 | 2 | 8 | 1 | 8 | 2 | 23 | 5 |
| | リベリア | 1 | | 5 | 1 | 1 | | 7 | 1 |
| | マラウイ | 9 | 2 | 10 | 4 | 9 | 4 | 28 | 10 |
| | ニジェール | 2 | 1 | 2 | 1 | 1 | | 5 | 2 |
| | セネガル | | | 1 | | 2 | 1 | 3 | 1 |
| | セネガル | 2 | 2 | 3 | 1 | | | 5 | 3 |
| | タンザニア | 10 | 1 | 8 | 1 | 6 | 1 | 24 | 3 |
| | ザンビア | 9 | 1 | 5 | 2 | 7 | | 21 | 3 |
| | ジンバブエ | | | 5 | 2 | 3 | | 8 | 1 |
| | コートジボワール | | | 1 | 1 | | | 1 | 1 |
| <中南米> | ブラジル | 3 | 2 | 6 | 2 | | | 9 | 4 |
| | コロンビア | 1 | 1 | 3 | 2 | 2 | 1 | 6 | 4 |
| | エクアドル | 4 | 3 | 2 | 1 | 1 | 1 | 7 | 5 |
| | コロンビア | | | 3 | | 3 | 1 | 6 | |
| | ジャマイカ | | | 4 | 2 | 1 | 1 | 5 | 3 |
| | ドミニカ共和国 | 4 | 3 | 3 | 1 | | | 7 | 4 |
| | エクアドル | | | 1 | 1 | 1 | 1 | 1 | 1 |
| | エクアドル | 1 | 1 | 1 | 1 | 1 | 1 | 3 | 3 |
| | コロンビア | 3 | 2 | | | 2 | 1 | 5 | 3 |
| | エクアドル | 4 | | 7 | 3 | 6 | 2 | 17 | 5 |
| | エクアドル | 3 | 2 | 6 | 4 | 9 | 5 | 18 | 11 |
| | エクアドル | 1 | | 3 | | | | 4 | |
| | エクアドル | 2 | | 2 | 1 | 1 | | 5 | 1 |
| セント・ルシア | | | | | 1 | | 1 | | |
| <オセアニア / 欧州地域> | フィジー | 4 | | 2 | 1 | 1 | | 7 | 1 |
| | オーストラリア | 2 | | 3 | | 2 | | 7 | |
| | オーストラリア | 1 | 1 | | | | | 1 | |
| | ドイツ | | | 2 | 1 | 2 | 1 | 4 | 2 |
| | 西ドイツ | 2 | | 4 | 1 | | | 6 | 1 |
| | ソロモン諸島 | 1 | | 1 | | 1 | | 3 | |
| | ミクロネシア | 2 | | | | | | 2 | |
| | フランス | 1 | | | | 1 | | 2 | |
| | フランス | | | 1 | | | | 1 | |
| | オランダ | 1 | | | | | | 1 | |
| | フランス | 1 | | | | | | 1 | |
| | ドイツ | 1 | | 2 | 1 | | | 3 | |
| | フランス | | | | | 1 | 1 | 1 | |
| 合計 | 166 | 56 | 174 | 53 | 130 | 38 | 470 | 147 | |

*データは一般職員のみ

青年海外協力隊員現職参加状況(総計; 120人)

1999.2月現在

| 富山県 | 隊次 | 派遣国 | 職種 | 性別 | 身分措置 |
|-----|----|-------------|--------|----|------|
| | 1 | 484 シリア | 体操競技 | 男 | 職専免 |
| | 2 | 493 ネパール | 宅内電話工事 | 男 | 特認休暇 |
| | 3 | 511 ネパール | 空手 | 男 | 有給休暇 |
| | 4 | 524 シリア | 看護婦(士) | 女 | 派遣法 |
| | 5 | 551 マレーシア | 理数科教師 | 男 | 職専免 |
| | 6 | 554 マラウイ | 自動車整備 | 男 | 有給休暇 |
| | 7 | 562 フィリピン | 電子機器 | 男 | 有給休暇 |
| | 8 | 564 タンザニア | 獣医師 | 男 | 職専免 |
| | 9 | 573 タンザニア | 農業機械 | 男 | 有給休暇 |
| | 10 | 574 ガーナ | 電話線路 | 男 | 特認休暇 |
| | 11 | 601 バングラデシュ | 溶接 | 男 | 有給休暇 |
| | 12 | 603 マレーシア | 森林経営 | 男 | 職専免 |
| | 13 | 603 マラウイ | 無線通信機 | 男 | 特認休暇 |
| | 14 | 621 ガーナ | 理数科教師 | 男 | 派遣法 |
| | 15 | 622 ソロモン諸島 | 土木施工 | 男 | 有給休暇 |
| | 16 | 631 ザンビア | 自動車整備 | 男 | 有給休暇 |
| | 17 | 632 モロッコ | 土木施工 | 男 | 有給休暇 |
| | 18 | 011 中国 | 精密機器 | 男 | 有給休暇 |
| | 19 | 012 ボリヴィア | 助産婦 | 女 | 派遣法 |
| | 20 | 012 バングラデシュ | 保健婦(士) | 女 | 職専免 |
| | 21 | 013 インドネシア | 電話線路 | 男 | 特認休暇 |
| | 22 | 021 モロッコ | 土木施工 | 男 | 有給休暇 |
| | 23 | 022 シリア | 獣医師 | 男 | 有給休暇 |
| | 24 | 031 フィジー | 統計 | 男 | 派遣法 |
| | 25 | 043 ザンビア | 薬剤師 | 男 | 派遣法 |
| | 26 | 051 ネパール | 室内装飾 | 女 | 有給休暇 |
| | 27 | 051 タイ | 電子機器 | 男 | 無給休暇 |
| | 28 | 053 ジョルダン | 養護 | 女 | 派遣法 |
| | 29 | 053 ザンビア | 薬剤師 | 男 | 有給休暇 |
| | 30 | 063 ボリヴィア | 工作機械 | 男 | 有給休暇 |
| | 31 | 071 ミクロネシア | 理数科教師 | 男 | 派遣法 |
| | 32 | 072 マラウイ | 電子機器 | 男 | 無給休暇 |
| | 33 | 073 バングラデシュ | 電気機器 | 男 | 有給休暇 |
| | 34 | 082 ネパール | 料理 | 男 | 有給休暇 |
| | 35 | 082 ホンデュラス | 電話線路 | 男 | 特認休暇 |
| | 36 | 091 コロンビア | 青少年活動 | 女 | 派遣法 |
| | 37 | 093 ニジエール | 野菜 | 女 | 派遣法 |

| 石川県 | 隊次 | 派遣国 | 職種 | 性別 | 身分措置 |
|-----|----|-------------|--------|----|------|
| | 1 | 512 エチオピア | 土木設計 | 男 | 職専免 |
| | 2 | 514 テュニジア | 助産婦 | 女 | 特認休暇 |
| | 3 | 531 マレーシア | 縮作 | 男 | 有給休暇 |
| | 4 | 551 ベルギー | 陸上競技 | 男 | 有給休暇 |
| | 5 | 551 バングラデシュ | 園芸作物 | 男 | 有給休暇 |
| | 6 | 554 ガーナ | 無線通信機 | 男 | 特認休暇 |
| | 7 | 564 ケニア | 自動車整備 | 男 | 有給休暇 |
| | 8 | 574 西サモア | 通信電力 | 男 | 有給休暇 |
| | 9 | 582 マレーシア | 造園 | 男 | 有給休暇 |
| | 10 | 591 ネパール | 理数科教師 | 男 | 職専免 |
| | 11 | 603 コロンビア | 野菜 | 男 | 職専免 |
| | 12 | 613 ザンビア | 鉄道車輛 | 男 | 有給休暇 |
| | 13 | 621 ガーナ | 電話線路 | 男 | 特認休暇 |
| | 14 | 622 リベリア | 農業機械 | 男 | 有給休暇 |
| | 15 | 633 ルワンダ | 通信電力 | 男 | 特認休暇 |
| | 16 | 011 リベリア | 電話交換機 | 男 | 特認休暇 |
| | 17 | 011 シリア | ハンドボール | 男 | 派遣法 |
| | 18 | 021 ザンビア | 獣医師 | 女 | 派遣法 |
| | 19 | 021 コロンビア | 理数科教師 | 女 | 派遣法 |
| | 20 | 021 ケニア | 自動車整備 | 男 | 有給休暇 |
| | 21 | 031 コロンビア | 日本語教師 | 女 | 有給休暇 |

| | | | | | |
|----|-----|------------|-----------|---|------|
| 22 | 031 | モロッコ | 自動車整備 | 男 | 有給休暇 |
| 23 | 032 | ブータン | 電話交換機 | 男 | 特認休暇 |
| 24 | 033 | トンガ | 電気工事 | 男 | 派遣法 |
| 25 | 041 | バブア・ニューギニア | 理数科教師 | 男 | 有給休暇 |
| 26 | 052 | ケニア | 土木施工 | 男 | 派遣法 |
| 27 | 053 | ラオス | 保健婦(士) | 女 | 派遣法 |
| 28 | 061 | セネガル | 野菜 | 男 | 派遣法 |
| 29 | 063 | タンザニア | 電話線路 | 男 | 特認休暇 |
| 30 | 072 | ホンデュラス | 医療機器 | 男 | 有給休暇 |
| 31 | 073 | コートジボアール | 臨床検査技師 | 女 | 有給休暇 |
| 32 | 081 | ハンガリー | 幼稚園教諭 | 女 | 有給休暇 |
| 33 | 082 | マレーシア | 養護 | 男 | 派遣法 |
| 34 | 082 | マレーシア | 日本語教師 | 女 | 派遣法 |
| 35 | 083 | ブータン | システムエンジニア | 男 | 有給休暇 |
| 36 | 083 | ボリヴィア | 自動車整備 | 男 | 有給休暇 |
| 37 | 092 | ネパール | 獣医師 | 男 | 派遣法 |
| 38 | 092 | マラウイ | 電気工事 | 男 | 有給休暇 |
| 39 | 093 | ジョルダン | 養護 | 男 | 有給休暇 |
| 40 | 093 | シリア | 電子機器 | 男 | 有給休暇 |
| 41 | 101 | ラオス | 看護婦(士) | 女 | 派遣法 |
| 42 | 101 | スリ・ランカ | 理数科教師 | 男 | 派遣法 |

福井県

| | | | | | |
|----|-----|---------|-----------|---|------|
| 1 | 422 | フィリピン | 上下水道 | 男 | 職専免 |
| 2 | 441 | モロッコ | 測量 | 男 | 職専免 |
| 3 | 442 | インド | 農業土木 | 男 | 職専免 |
| 4 | 502 | ザンビア | 自動車整備 | 男 | 有給休暇 |
| 5 | 502 | モロッコ | 測量 | 男 | 有給休暇 |
| 6 | 532 | ザンビア | 電話線路 | 男 | 特認休暇 |
| 7 | 544 | ガーナ | 土木設計 | 男 | 特認休暇 |
| 8 | 551 | パラグアイ | 体育 | 男 | 無給休暇 |
| 9 | 572 | タンザニア | 稲作 | 男 | 無給休暇 |
| 10 | 573 | バングラデシュ | 航海術 | 男 | 派遣法 |
| 11 | 591 | ホンデュラス | 小学校教諭 | 女 | 有給休暇 |
| 12 | 591 | パラグアイ | 電話線路 | 男 | 特認休暇 |
| 13 | 602 | ネパール | 理数科教師 | 男 | 職専免 |
| 14 | 603 | トンガ | 船舶機関 | 男 | 有給休暇 |
| 15 | 633 | ルワンダ | 看護婦(士) | 女 | 派遣法 |
| 16 | 633 | ケニア | 測量 | 男 | 有給休暇 |
| 17 | 633 | ホンデュラス | 農産物加工 | 男 | 無給休暇 |
| 18 | 021 | 中国 | 縫製 | 男 | 有給休暇 |
| 19 | 022 | ケニア | 測量 | 男 | 有給休暇 |
| 20 | 023 | モロッコ | 電気工事 | 男 | 無給休暇 |
| 21 | 032 | ホンデュラス | 電話交換機 | 男 | 特認休暇 |
| 22 | 033 | エクアドル | 栄養士 | 女 | 有給休暇 |
| 23 | 033 | ガーナ | 電話線路 | 男 | 特認休暇 |
| 24 | 042 | バングラデシュ | 村落開発普及員 | 男 | 有給休暇 |
| 25 | 061 | バングラデシュ | 建築製図 | 男 | 有給休暇 |
| 26 | 062 | ザンビア | 無線通信機 | 男 | 有給休暇 |
| 27 | 063 | スリ・ランカ | 日本語教師 | 女 | 有給休暇 |
| 28 | 063 | ネパール | 電話線路 | 男 | 特認休暇 |
| 29 | 071 | ジョルダン | システムエンジニア | 男 | 有給休暇 |
| 30 | 072 | パラグアイ | 体育 | 女 | 派遣法 |
| 31 | 072 | ガーナ | 理数科教師 | 男 | 有給休暇 |
| 32 | 073 | ジンバブエ | 自動車整備 | 男 | 有給休暇 |
| 33 | 081 | インドネシア | 農業土木 | 男 | 派遣法 |
| 34 | 081 | モロッコ | 陶磁器 | 女 | 有給休暇 |
| 35 | 081 | マラウイ | 自動車整備 | 男 | 有給休暇 |
| 36 | 081 | セント・ルシア | 理数科教師 | 男 | 派遣法 |
| 37 | 083 | バングラデシュ | 農業機械 | 男 | 有給休暇 |
| 38 | 093 | ニカラグア | システムエンジニア | 男 | 有給休暇 |
| 39 | 101 | ネパール | 獣医師 | 男 | 派遣法 |
| 40 | 101 | ホンデュラス | 小学校教諭 | 女 | 派遣法 |

資料17

派遣中隊員の身分措置状況

平成11年2月現在

| 出身県 | 人数 | 女性 | 現職参加 | | | 退職/その他(学卒等) | | | |
|-----|----|----|------|----|-----|-------------|----|-----|----|
| | | | 人数 | 女性 | % | 退職 | 女性 | その他 | 女性 |
| 富山県 | 20 | 9 | 6 | 0 | 30% | 7 | 5 | 7 | 4 |
| 石川県 | 29 | 11 | 6 | 3 | 21% | 12 | 5 | 11 | 3 |
| 福井県 | 20 | 10 | 10 | 3 | 50% | 6 | 3 | 4 | 4 |
| 合計 | 69 | 30 | 22 | 6 | 32% | 25 | 13 | 22 | 11 |

資料18

帰国隊員の就職状況

(1) 平成9年度(1997.4.1~1998.3.31)

| | 3県合計 | | | 富山県 | | | 石川県 | | | 福井県 | | |
|--------------|------|----|----|-----|---|----|-----|----|----|-----|---|----|
| | 男 | 女 | 計 | 男 | 女 | 計 | 男 | 女 | 計 | 男 | 女 | 計 |
| 前期末進路未決定者 | 7 | 6 | 13 | 3 | 1 | 4 | 4 | 3 | 7 | 0 | 2 | 2 |
| 9年度帰国者 | 23 | 20 | 43 | 5 | 4 | 9 | 15 | 10 | 25 | 3 | 6 | 9 |
| 相談者合計 | 30 | 26 | 56 | 8 | 5 | 13 | 19 | 13 | 32 | 3 | 8 | 11 |
| ①現職復帰 | 7 | 2 | 9 | 2 | 0 | 2 | 2 | 0 | 2 | 3 | 2 | 5 |
| ②就職 | 8 | 5 | 13 | 3 | 0 | 3 | 5 | 3 | 8 | 0 | 2 | 2 |
| 内 職 | | | | | | | | | | | | |
| 公務員・教員 | 1 | 1 | 2 | 0 | 0 | 0 | 1 | 1 | 2 | 0 | 0 | 0 |
| 民間・企業団体 | 7 | 4 | 11 | 3 | 0 | 3 | 4 | 2 | 6 | 0 | 2 | 2 |
| ③JOCV関係/専門家等 | 0 | 1 | 1 | 0 | 0 | 0 | 0 | 1 | 1 | 0 | 0 | 0 |
| ④留/進/復学 | 1 | 0 | 1 | 0 | 0 | 0 | 1 | 0 | 1 | 0 | 0 | 0 |
| ⑤結婚/自営/その他 | 0 | 2 | 2 | 0 | 0 | 0 | 0 | 2 | 2 | 0 | 0 | 0 |
| 年度内進路決定者数 | 16 | 10 | 26 | 5 | 0 | 5 | 8 | 6 | 14 | 3 | 4 | 7 |
| 年度末進路未定者数 | 14 | 16 | 30 | 3 | 5 | 8 | 11 | 7 | 18 | 0 | 4 | 4 |

(2) 平成10年度(1998.4.1~1999.2月出現在)

| | 3県合計 | | | 富山県 | | | 石川県 | | | 福井県 | | |
|--------------|------|----|----|-----|---|----|-----|----|----|-----|---|----|
| | 男 | 女 | 計 | 男 | 女 | 計 | 男 | 女 | 計 | 男 | 女 | 計 |
| 前期末進路未決定者 | 14 | 16 | 30 | 3 | 5 | 8 | 11 | 7 | 18 | 0 | 4 | 4 |
| 10年度帰国者 | 15 | 12 | 27 | 5 | 4 | 9 | 5 | 4 | 9 | 5 | 4 | 9 |
| 相談者合計 | 29 | 28 | 57 | 8 | 9 | 17 | 16 | 11 | 27 | 5 | 8 | 13 |
| ①現職復帰 | 7 | 4 | 11 | 3 | 0 | 3 | 1 | 3 | 4 | 3 | 1 | 4 |
| ②就職 | 10 | 7 | 17 | 3 | 4 | 7 | 7 | 2 | 9 | 0 | 1 | 1 |
| 内 職 | | | | | | | | | | | | |
| 公務員・教員 | 1 | 2 | 3 | 1 | 0 | 1 | 0 | 1 | 1 | 0 | 1 | 1 |
| 民間・企業団体 | 9 | 5 | 14 | 2 | 4 | 6 | 7 | 1 | 8 | 0 | 0 | 0 |
| ③JOCV関係/専門家等 | 3 | 3 | 6 | 0 | 0 | 0 | 3 | 3 | 6 | 0 | 0 | 0 |
| ④留/進/復学 | 0 | 3 | 3 | 0 | 1 | 1 | 0 | 0 | 0 | 0 | 2 | 2 |
| ⑤結婚/自営/その他 | 0 | 1 | 1 | 0 | 1 | 1 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 |
| 年度内進路決定者数 | 20 | 18 | 38 | 6 | 6 | 12 | 11 | 8 | 19 | 3 | 4 | 7 |
| 年度末進路未定者数 | 9 | 10 | 19 | 2 | 3 | 5 | 5 | 3 | 8 | 2 | 4 | 6 |

日系社会青年ボランティア実績推移 (旧海外開発青年)

出身県別実績

| 県名 | ～平3 | 平4 | 平5 | 平6 | 平7 | 平8 | 平9 | 平10 | 合計 |
|----|-----|----|----|----|----|----|----|-----|----|
| 富山 | 2 | | | 2 | 1 | | | 1 | 6 |
| 石川 | 1 | | | | | | | 2 | 3 |
| 福井 | | | | | | 1 | | 1 | 2 |

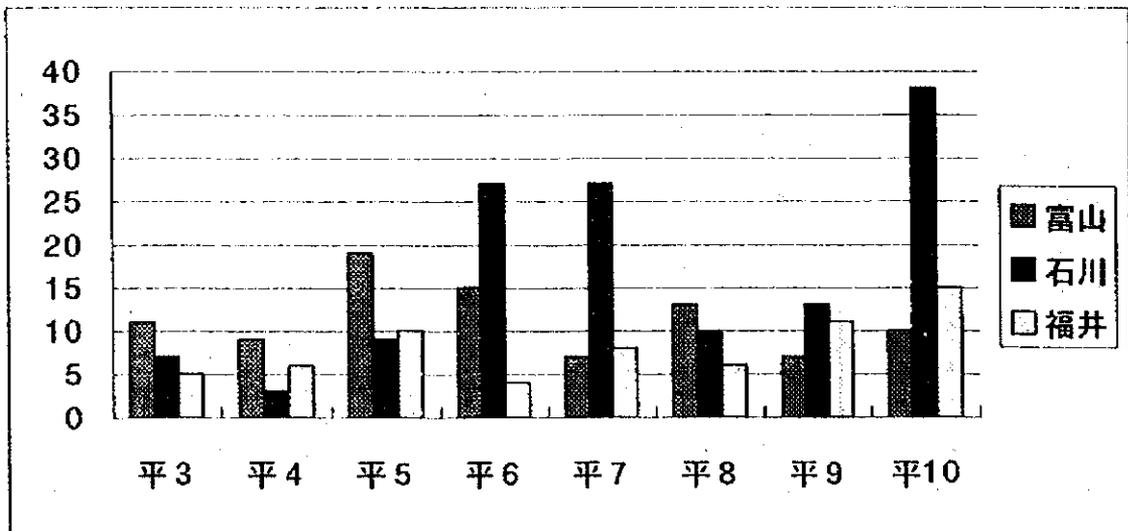
参集者数

| 県名 | 平3 | 平4 | 平5 | 平6 | 平7 | 平8 | 平9 | 平10 | 合計 |
|------|----|----|----|----|----|----|----|-----|-----|
| 富山 | 11 | 9 | 19 | 15 | 7 | 13 | 7 | 10 | 91 |
| 石川 | 7 | 3 | 9 | 27 | 27 | 10 | 13 | 38 | 134 |
| 福井 | 5 | 6 | 10 | 4 | 8 | 6 | 11 | 15 | 65 |
| 3県合計 | 23 | 18 | 38 | 46 | 42 | 29 | 31 | 63 | 290 |

応募者数

| 県名 | 平3 | 平4 | 平5 | 平6 | 平7 | 平8 | 平9 | 平10 | 合計 |
|------|----|----|----|----|----|----|----|-----|----|
| 富山 | 2 | 2 | 0 | 4 | 5 | 7 | 6 | 8 | 34 |
| 石川 | 1 | 0 | 5 | 8 | 10 | 3 | 5 | 13 | 45 |
| 福井 | 1 | 1 | 2 | 3 | 4 | 1 | 2 | 4 | 18 |
| 3県合計 | 4 | 3 | 7 | 15 | 19 | 11 | 13 | 25 | 97 |

日系社会青年ボランティア説明会参集者推移



平成10年度北陸管内 研修員受入状況一覧表

| 研修区分 | 国名 | 研修員氏名 | 年齢 | 研修科目 | 研修期間(北陸) | 研修機関 |
|--------|-----------|------------------------------------|----|-------------|-------------------|---------------------|
| 日系 | アザール | Ms. Edna Tomiko Miyake Kato | 40 | 薬用植物成分分析 | 10.03.30~10.06.23 | 富山医科大学・和漢診療学教室 |
| 日露交流計画 | メキシコ | Mr. Jose Alberto Garcia Lopez | 28 | コンピュータ | 10.05.07~10.11.18 | 金沢工業大学 |
| 同上 | 同上 | Ms. Blanca Lilia Gastelum Gastelum | 31 | 同上 | 同上 | 同上 |
| 同上 | 同上 | Mr. Erick Benitez Sanchez | 21 | 同上 | 同上 | 同上 |
| 同上 | 同上 | Ms. Ruth Romero Cavazos | 23 | 同上 | 同上 | 同上 |
| 日露交流計画 | メキシコ | Mr. Arturo Gutierrez Reed | 32 | 工業デザイン | 10.05.07~10.11.18 | 富山県工業技術センター |
| 同上 | 同上 | Mr. Perez Jesus Pedro Escalona | 26 | 同上 | 同上 | 同上 |
| カウンタート | パプアニューギニア | Mr. Gomara TARUBE | 31 | 視覚教育 | 10.06.02~11.02.28 | (株) テレビ金沢 |
| カウンタート | 中国 | Mr. ZHOU, Zhian | 57 | 土壌肥料 | 10.08.21~10.11.07 | 富山県農業技術センター |
| 日系 | アザール | Mr. Seizi OGA | 60 | 最新製造に係る教育手法 | 10.10.23~10.11.18 | 富山医科大学・和漢診療学教室 |
| 個別特設 | モンゴル | Ms. Sungidmaa Nadmid | 30 | 工場管理 | 10.10.01~10.12.21 | (株) マツ・キウ・列士ト |
| 同上 | 同上 | Mr. Oyunbaatar Erdene | 36 | 同上 | 同上 | 同上 |
| 同上 | 同上 | Mr. Saihanbayar Batchuluun | 29 | 同上 | 同上 | 同上 |
| 同上 | 同上 | Ms. Javzanxhuu Ragchaa | 39 | 同上 | 同上 | 同上 |
| 個別特設 | モンゴル | Mr. Ochirjav Muntogtooh | 40 | 観光開発 | 10.10.26~10.12.15 | (社) 石川県観光連盟 |
| 同上 | 同上 | Mr. Batsaikhan Chultemsuren | 38 | 同上 | 同上 | 同上 |
| 同上 | 同上 | Ms. Yondon Khishgee | 33 | 同上 | 同上 | 同上 |
| 同上 | 同上 | Ms. Tsend-Ayush Tseveen | 40 | 同上 | 同上 | 同上 |
| 同上 | 同上 | Ms. Tsendsuren Dambarentsen | 37 | 同上 | 同上 | 同上 |
| 同上 | 同上 | Mr. Jamyanjav Badrakh | 38 | 同上 | 同上 | 同上 |
| カウンタート | メキシコ | Mr. Alonso de la Garza San Miguel | 37 | コンピュータ/技術 | 10.11.02~10.12.02 | コパテック(株) 他 |
| カウンタート | メキシコ | Mr. Gilberto Contreras Silva | 38 | 品質管理/試験技術 | 11.02.01~11.02.25 | コパテック(株) 他 |
| カウンタート | ネパール | Mr. Bal Gopal Dungal | 55 | 竹工芸 | 10.11.06~11.02.10 | 野原竹工所 |
| 民間技能者 | インドネシア | Mr. Paulus Yosef Kemil | 32 | 外科・内科診断技術 | 10.11.09~11.03.26 | (医) 社団 和基仁 成口秀雄記念病院 |
| 同上 | 同上 | Ms. Luh Dath Puspani | 32 | 同上 | 同上 | 同上 |
| カウンタート | ケニア | Mr. Tolo Festus Mururi | 39 | 感染症対策II | 10.12.01~11.02.25 | 富山医科大学・ウィルス学教室 |
| カウンタート | モンゴル | Mr. Lamkhoo Battsooj | 37 | UB市道路整備計画 | 11.01.25~11.03.28 | 石川県金沢市役所国際交流課他 |
| 個別・地方枠 | 中国 | Mr. Zhou, Chao | 21 | 果樹栽培・病害虫防除 | 11.03.00~11.12.00 | 石川県農業総合研究センター |
| 同上 | 同上 | Mr. Xu, Nai-Chun | 28 | 同上 | 同上 | 同上 |
| 同上 | 同上 | Mr. Zhu, Cheng-Wei | 27 | 同上 | 同上 | 同上 |
| カウンタート | ミャンマー | Ms. Dah Khin May Ni | 57 | 伝統医薬品 | 11.03.20~11.04.09 | 富山医科大学 和漢薬研究所 |

資料21

・移住者子弟一般技術研修員受入実績

平成10年3月現在

| 派遣年度 | | 研修生名 | 出身国 | 研修科目 | 研修機関 |
|--------|--------|-----------|-------|-----------|--------------|
| 昭和46年度 | (第1回) | 仁田原 豊 | ポリヴィア | 養鶏 | 福井県養鶏場 |
| 昭和46年度 | (第1回) | 山田 豊 | ブラジル | 畜産 | 福井県農業試験場 |
| 昭和50年度 | (第5回) | 広瀬 昭憲 | ブラジル | 農業機械 | 福井県農業後継者センター |
| 昭和53年度 | (第8回) | 高橋 アリ富 | ブラジル | 養魚孵化 | 石川県増殖試験場 |
| 昭和62年度 | (第17回) | 相根 真弓 | ブラジル | 幼児教育 | 富山県立保育専門学校 |
| 昭和62年度 | (第17回) | 藤倉恵利功ガベッ | ブラジル | 看護婦 | 富山赤十字看護専門学校 |
| 昭和62年度 | (第17回) | 砂田 直美 | ブラジル | 幼児教育 | 石川県立保育専門学校 |
| 昭和63年度 | (第18回) | 不破ジュリア真理子 | ブラジル | 看護婦 | 金沢赤十字病院 |
| 平成3年度 | (第21回) | 鷺見 美枝アハラ | パラグアイ | 水産食品加工 | 富山蒲鉾株式会社 |
| 平成5年度 | (第23回) | 澤元 美紀 | ポリヴィア | コンピュータソフト | 富山コンピュータ専門学校 |

・移住者子弟上級技術研修員受入実績

| 派遣年度 | | 研修生名 | 出身国 | 研修科目 | 研修機関 |
|-------|--------|-------|------|-------|-----------|
| 平成7年度 | (第11回) | 岡田美智子 | ブラジル | 紫外線放射 | 国立金沢大学薬学部 |

・中堅移住者技術向上研修

| 派遣年度 | | 研修生名 | 出身国 | 研修科目 | 研修機関 |
|-------|--------|-------|-------|--------|----------|
| 平成8年度 | (第13回) | 澤元 静雄 | ポリヴィア | 学校教育運営 | 富山県教育委員会 |

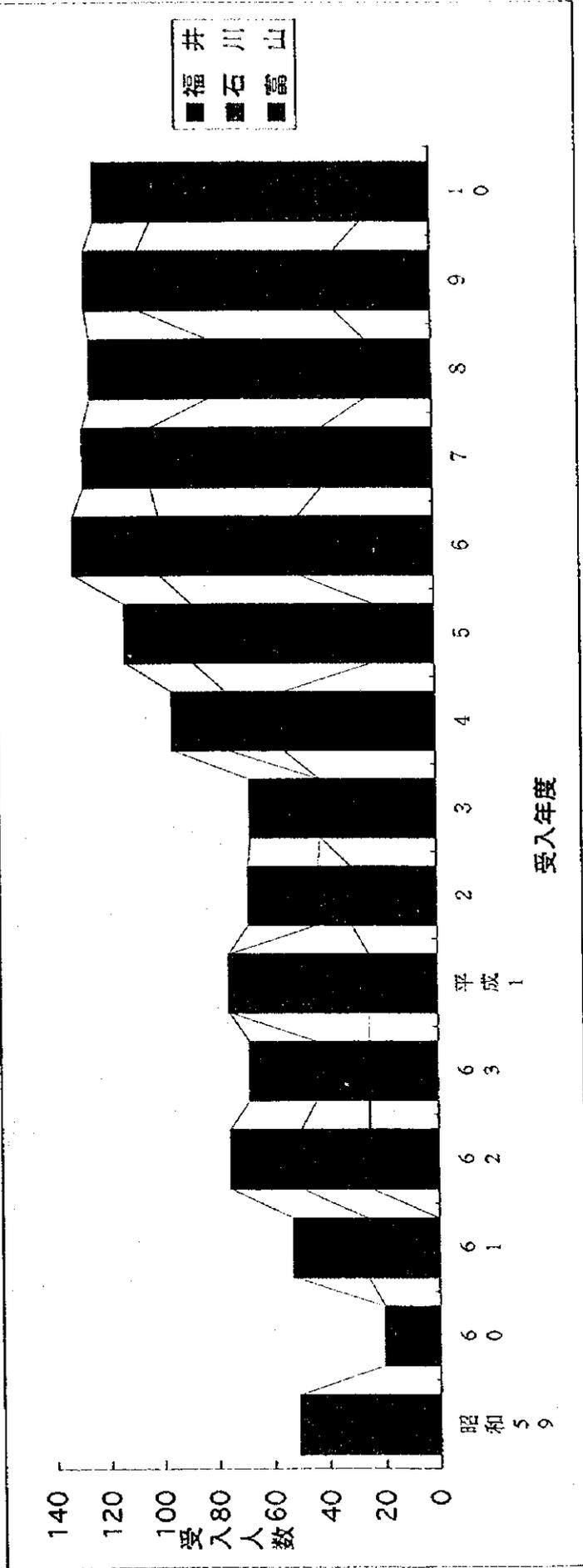
・日系技術研修員受入実績

| 派遣年度 | 研修生名 | 出身国 | 研修科目 | 研修機関 |
|--------|---------|---------|-------------|------------|
| 平成9年度 | 島 デボラ | アルゼンティン | 経営学 | 富山国際大学 |
| 平成9年度 | 高田 ウーゴ | アルゼンティン | 温室鉢 | 富山県花総合センター |
| 平成10年度 | エデナ トミコ | ブラジル | 薬用植物成分分析 | 富山医科薬科大学 |
| 平成10年度 | セイジ オガ | ブラジル | 薬剤製造に係る教育手法 | 富山医科薬科大学 |

青年招へい事業北陸3県受入実績

(平成11年3月現在)

| | 昭和59 | 60 | 61 | 62 | 63 | 平成1 | 2 | 3 | 4 | 5 | 6 | 7 | 8 | 9 | 10 | 累計 |
|----|------|----|----|----|----|-----|----|----|----|-----|-----|-----|-----|-----|-----|-------|
| 富山 | 0 | 0 | 0 | 25 | 25 | 25 | 31 | 42 | 55 | 22 | 49 | 40 | 24 | 35 | 25 | 398 |
| 石川 | 51 | 20 | 26 | 25 | 19 | 50 | 12 | 0 | 20 | 65 | 50 | 62 | 56 | 71 | 76 | 603 |
| 福井 | 0 | 0 | 27 | 25 | 24 | 0 | 25 | 25 | 20 | 25 | 32 | 25 | 44 | 20 | 21 | 313 |
| 計 | 51 | 20 | 53 | 75 | 68 | 75 | 68 | 67 | 95 | 112 | 131 | 127 | 124 | 126 | 122 | 1,314 |



*注：北陸支部開設（平成4年）前、昭和59年～平成3年は中部支部、平成4年は東海支部が管轄。
平成5年から、北陸支部管轄として受入開始。

青年招へい事業年度別受入実績

平成11年3月現在

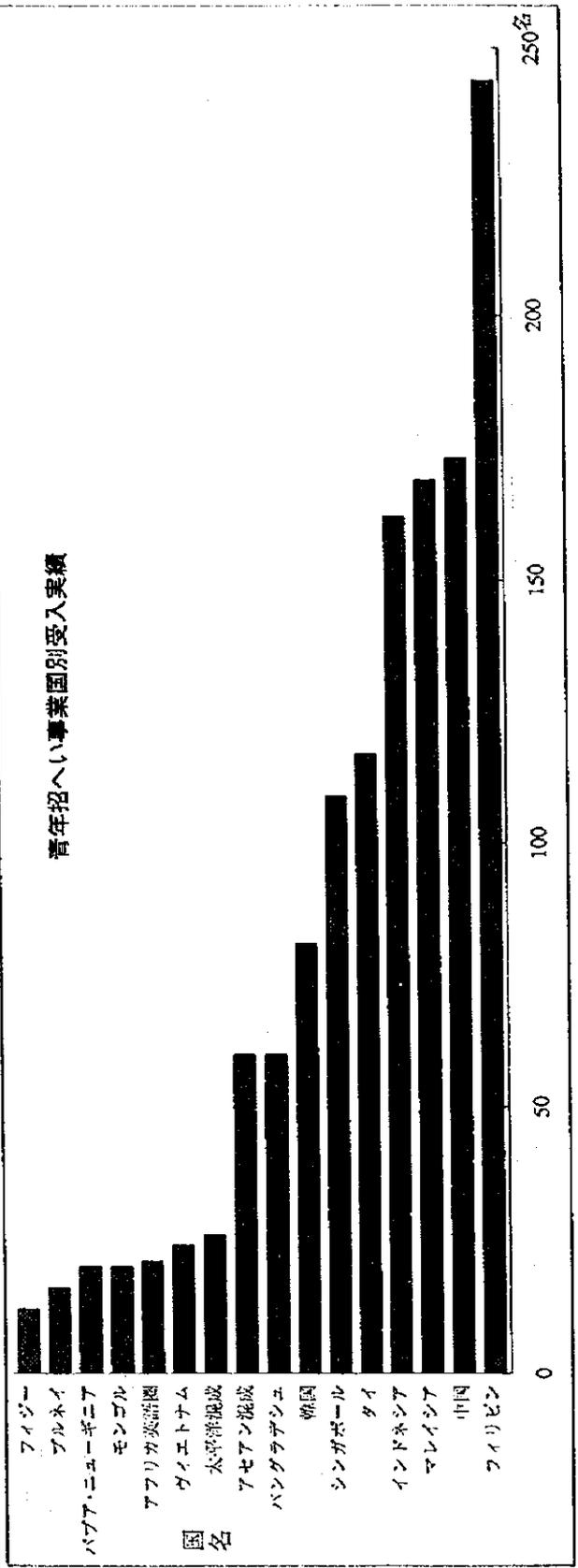
| 年度 | 国名 | 分野名 | 人数 | 地方受入団体 |
|------|------------|----------------|----|----------------------|
| 昭和59 | フィリピン | 学生 | 29 | (社)日本国際生活体験協会金沢地区委員会 |
| | シンガポール | 青年指導者 | 22 | 金沢市教育委員会 |
| 60 | シンガポール | 学生 | 20 | 金沢市教育委員会 社会教育課 |
| 61 | インドネシア | 農村青年 | 27 | 農業青年クラブ連絡協議会 |
| | フィリピン | 青年指導者 | 26 | (社)日本国際生活体験協会小松地区委員会 |
| 62 | マレーシア | 公務員 | 25 | 金沢市青少年団体連絡協議会 |
| | 中国 | 農村青年 | 25 | 福井県青少年団体連絡協議会 |
| | インドネシア | 勤労青年 | 25 | 富山県青船会 |
| 63 | フィリピン | 教員 | 19 | (社)日本国際生活体験協会小松地区委員会 |
| | マレーシア | 学生 | 25 | 富山県世界青年友の会 |
| | 中国 | 青年指導者 | 24 | 福井県青少年団体連絡協議会 |
| 平成1 | インドネシア | 学生 | 25 | 富山県世界青年友の会 |
| | フィリピン | テーマB(農業地場産業振興) | 25 | 石川県21世紀のための友情計画実行委員会 |
| | タイ | 青年指導者 | 25 | (社)日本国際生活体験協会金沢地区委員会 |
| 2 | 韓国 | 学生 | 31 | 富山県世界青年友の会 |
| | マレーシア | 青年指導者 | 25 | 福井県県民生活部 青少年女性課 |
| | 太平洋混成 | 教員 | 12 | (財)石川県ユースホステル協会 |
| 3 | シンガポール | 青年指導者 | 22 | (社)日本国際生活体験協会富山地区委員会 |
| | インドネシア | 勤労青年 | 25 | 福井県中小企業労働福祉集団連合会 |
| | タイ | テーマB(社会福祉) | 20 | 富山県青年団協議会 |
| 4 | フィリピン | 教員 | 20 | 石川県世界青年友の会 |
| | タイ | 青年指導者 | 25 | 富山県青年団協議会 |
| | インドネシア | 学生 | 20 | 友愛青年連盟福井支部連合会 |
| | バングラデシュ | 公務員 | 20 | 富山県世界青年友の会 |
| | モンゴル | 教員 | 10 | 富山県JOCVを育てる会 |
| 5 | マレーシア | 学生 | 20 | (社)日本国際生活体験協会小松地区委員会 |
| | タイ | 青年指導者 | 22 | 富山県青年団協議会 |
| | 韓国 | 学生 | 25 | 石川県世界青年友の会 |
| | バングラデシュ | 教員 | 20 | (財)石川県国際交流協会 |
| | 中国 | 産業基盤整備実務者 | 25 | (財)福井県国際交流協会 |
| 6 | マレーシア | 中小企業 | 24 | 富山県世界青年友の会 |
| | マレーシア | 社会開発 | 25 | 富山県青年団協議会 |
| | フィリピン | 社会開発 | 25 | (財)石川県ユースホステル協会 |
| | フィジー | 公務員 | 12 | 勝山市国際交流協会 |
| | バングラデシュ | 公務員 | 20 | (財)福井県国際交流協会 |
| | 中国 | 教員 | 25 | (財)石川県国際交流協会 |
| 7 | フィリピン | 経済B | 24 | 小松市国際交流協会 |
| | 韓国 | 教員(養護学校) | 25 | (財)福井県国際交流協会 |
| | 太平洋混成 | 教員 | 14 | (財)石川県ユースホステル協会 |
| | パプア・ニューギニア | 公務員 | 10 | 富山県世界青年友の会 |
| | アセアン混成 | 社会福祉 | 30 | (財)とやま国際センター |
| | ヴェトナム | 教育 | 24 | (財)石川県国際交流協会 |

| | | | | |
|-----------------|-----------|------|----|-----------------|
| 8 | インドネシア | 経済A | 20 | (財)福井県国際交流協会 |
| | シンガポール | 経済B | 24 | (財)とやま国際センター |
| | ブルネイ | 社会開発 | 16 | (財)石川県ユースホステル協会 |
| | モンゴル | 公務員 | 10 | (財)金沢国際交流財団 |
| | 中国 | 公務員 | 24 | 武生市国際交流協会 |
| | アセアン混成 | 社会福祉 | 30 | 小松市国際交流協会 |
| 9 | インドネシア | 経済A | 20 | (財)福井県国際交流協会 |
| | フィリピン | 社会開発 | 25 | (財)とやま国際センター |
| | シンガポール | 教育 | 21 | 小松市国際交流協会 |
| | タイ | 社会開発 | 25 | (財)石川県国際交流協会 |
| | マレーシア | 中小企業 | 25 | (財)石川県ユースホステル協会 |
| | バプアニューギニア | 公務員 | 10 | 富山県世界青年友の会 |
| 10 | 中国 | 経済青年 | 25 | 小松市国際交流協会 |
| | 中国 | 教員 | 25 | (財)とやま国際センター |
| | フィリピン | 農業 | 25 | (財)石川県国際交流協会 |
| | アフリカ英語圏 | 女性教員 | 21 | 武生市国際交流協会 |
| | フィリピン | 社会開発 | 26 | (財)石川県ユースホステル協会 |
| 59グループ 計 1,314名 | | | | |

青年招へい事業国・年度別受入実績

平成11年3月現在

| 国名 | 受入年度 | | | | | | | | | | | | | | | | 合計 (名) |
|---------------|------|----|----|----|----|-----|----|----|----|-----|-----|-----|-----|-----|-----|-------|-----------|
| | 昭和59 | 60 | 61 | 62 | 63 | 平成1 | 2 | 3 | 4 | 5 | 6 | 7 | 8 | 9 | 10 | | |
| 1 フィリピン | 29 | - | 26 | - | 19 | 25 | - | - | 20 | - | 25 | 24 | - | 25 | 51 | 244 | |
| 2 中国 | - | - | - | 25 | 24 | - | - | - | - | 25 | 25 | - | 24 | - | 50 | 173 | |
| 3 マレーシア | - | - | - | 25 | 25 | - | 25 | - | - | 20 | 49 | - | - | 25 | - | 169 | |
| 4 インドネシア | - | - | 27 | 25 | - | 25 | - | 25 | 20 | - | - | - | 20 | 20 | - | 162 | |
| 5 タイ | - | - | - | - | - | 25 | - | 20 | 25 | 22 | - | - | - | 25 | - | 117 | |
| 6 シンガポール | 22 | 20 | - | - | - | - | - | 22 | - | - | - | - | 24 | 21 | - | 109 | |
| 7 韓国 | - | - | - | - | - | - | 31 | - | - | 25 | - | - | - | - | - | 81 | |
| 8 ハンガリア | - | - | - | - | - | - | - | - | 20 | 20 | - | - | - | - | - | 60 | |
| 9 アセアン混成 | - | - | - | - | - | - | - | - | - | - | - | 30 | 30 | - | - | 60 | |
| 10 太平洋混成 | - | - | - | - | - | - | 12 | - | - | - | - | 14 | - | - | - | 26 | |
| 11 ヴイエトナム | - | - | - | - | - | - | - | - | - | - | - | 24 | - | - | - | 24 | |
| 12 アフリカ英語圏 | - | - | - | - | - | - | - | - | - | - | - | - | - | - | 21 | 21 | |
| 13 モンゴル | - | - | - | - | - | - | - | - | 10 | - | - | - | 10 | - | - | 20 | |
| 14 パプア・ニューギニア | - | - | - | - | - | - | - | - | - | - | - | 10 | - | 10 | - | 20 | |
| 15 ブルネイ | - | - | - | - | - | - | - | - | - | - | - | - | 16 | - | - | 16 | |
| 16 フィジー | - | - | - | - | - | - | - | - | - | - | 12 | - | - | - | - | 12 | |
| 合計(名) | 51 | 20 | 53 | 75 | 68 | 75 | 68 | 75 | 95 | 112 | 131 | 127 | 124 | 126 | 122 | 1,314 | |



(1) 第4陣中国・経済青年(25名)の受入日程
 都内分野別プログラム実施協力団体名：財団法人ユースワーカー能力開発協会
 地方分野別プログラム実施協力団体名：小松市国際交流協会

| 区分 | 月日 | 曜日 | プログラム内容 | | 実施場所 | 宿泊場所 |
|------------|----|-------|--------------------------|---------------------------------|------|------------|
| | | | 午前 | 午後 | | |
| 共通プログラム | 1 | 5月20日 | 来日 | | 大阪 | 大阪国際センター |
| | 2 | 5月21日 | ブリーフィング(JICA紹介・生活ガイダンス) | 開講式 団体紹介 日本語学習(1) | 〃 | 〃 |
| | 3 | 5月22日 | 講義「日本人の生活と価値観」 | 日本語学習(2) | 〃 | 〃 |
| | 4 | 5月23日 | 日本語学習(3) | 体験的日本語学習 | 〃 | 〃 |
| | 5 | 5月24日 | 自主研修 | 同左 | 〃 | 〃 |
| | 6 | 5月25日 | 講義「日本産業と経済」 | 日本語学習 | 〃 | 〃 |
| | 7 | 5月26日 | 講義「日本の企業経営」 | 施設見学(松下電器技術館) | 〃 | 〃 |
| | 8 | 5月27日 | 移動 | プログラムオリエンテーション テレポートセンター見学 | 東京 | ホテルサンルート東京 |
| 都内分野別プログラム | 9 | 5月28日 | 通産省訪問 | 経団連訪問 | 〃 | 〃 |
| | 10 | 5月29日 | 合宿セミナー | オリエンテーション | 山梨 | 21倶楽部富士 |
| | 11 | 5月30日 | テーマ別発表 | 遊別討論 | 〃 | 〃 |
| | 12 | 5月31日 | 富士山5合目 | 移動 | 東京 | ホテルサンルート東京 |
| | 13 | 6月1日 | 移動 | NTT横須賀研究開発センター見学 | 〃 | 〃 |
| | 14 | 6月2日 | 自主研修 | 同左 | 〃 | 〃 |
| | 15 | 6月3日 | 移動 | 小松和紙工場、北国新報、歓迎式&オリエンテーション、交流の夕べ | 石川 | 法師 |
| | 16 | 6月4日 | コマツ工場見学、講義 | 小松市長表敬訪問、講義 | 〃 | アパホテル<小松> |
| 地方分野別プログラム | 17 | 6月5日 | 共和工業所工場見学 | 北国新聞工場見学 | 〃 | ホームステイ |
| | 18 | 6月6日 | ホームステイ | ホームステイ | 〃 | 〃 |
| | 19 | 6月7日 | ホームステイ | ホームステイ | 〃 | アパホテル<小松> |
| | 20 | 6月8日 | キリンビール北陸工場見学 | 青年会議所(意見交換会) レクリエーション | 〃 | 〃 |
| | 21 | 6月9日 | 石川ハイテク交流センター(講義) | 北陸先端技術大学院大学留学生との意見交換会・大学視察 | 〃 | 〃 |
| | 22 | 6月10日 | 小松ドーム見学 | 自主研修 フェアウェルパーティー | 〃 | 法師 |
| | 23 | 6月11日 | 移動 | 平和記念公園 | 広島 | サンルート広島 |
| | 24 | 6月12日 | 宮島見学 | 移動 | 岡山 | チサンホテル岡山 |
| 帰国プログラム | 25 | 6月13日 | 倉敷市内観光(大原美術館、アイビースクエアなど) | 移動 | 大阪 | 大阪国際センター |
| | 26 | 6月14日 | 帰国準備 | 自主研修 | 〃 | 〃 |
| | 27 | 6月15日 | 帰国に関する説明・諸手続き | 評議会・歓送会 | 〃 | 〃 |
| | 28 | 6月16日 | 帰国 | | 〃 | 〃 |

(2) 第4陣中国・教員(25名)の受入日程
 都内分野別プログラム実施協力団体名：社団法人 国際交流サービス協会
 地方分野別プログラム実施協力団体名：財団法人 とやま国際センター

| 区分 | 月日 | 曜日 | プログラム内容 | | 実施場所 | 宿泊場所 |
|-----------|----|-------|---------|-------------------------|------|---------------|
| | | | 午前 | 午後 | | |
| 共通プログラム | 1 | 5月20日 | 水 | 来日 | 茨木市 | 大阪国際センター |
| | 2 | 5月21日 | 木 | フリーディング(JICA紹介・生活ガイダンス) | 〃 | 〃 |
| | 3 | 5月22日 | 金 | 講義「日本人の生活と価値観」 | 〃 | 〃 |
| | 4 | 5月23日 | 土 | 日本語学習 | 〃 | 〃 |
| | 5 | 5月24日 | 日 | 自主研修 | 〃 | 〃 |
| | 6 | 5月25日 | 月 | 講義「日本産業と経済」 | 〃 | 〃 |
| | 7 | 5月26日 | 火 | 講義「日本の教育」 | 〃 | 〃 |
| 都内分野プログラム | 8 | 5月27日 | 水 | 移動 | 東京 | ホテルサンルート東京 |
| | 9 | 5月28日 | 木 | 東京大学訪問 | 〃 | 〃 |
| | 10 | 5月29日 | 金 | 大東文化大学訪問 | 江戸町 | 森林公園ヘリテイジリゾート |
| | 11 | 5月30日 | 土 | 合宿セミナー(分科会) | 〃 | 〃 |
| | 12 | 5月31日 | 日 | 合宿セミナー(スポーツ交流) | 東京 | ホテルサンルート東京 |
| | 13 | 6月1日 | 月 | 国会見学 | 〃 | 〃 |
| | 14 | 6月2日 | 火 | 放送大学訪問 | 〃 | 〃 |
| 地方分野プログラム | 15 | 6月3日 | 水 | 移動 | 富山市 | とやま自遊館 |
| | 16 | 6月4日 | 木 | 富山県庁表敬訪問 | 〃 | 〃 |
| | 17 | 6月5日 | 金 | 講義「富山県の教育施策・教育委員会」 | 〃 | ホームステイ |
| | 18 | 6月6日 | 土 | ホームステイ | 〃 | 〃 |
| | 19 | 6月7日 | 日 | ホームステイ | 〃 | とやま自遊館 |
| | 20 | 6月8日 | 月 | 利賀村訪問 | 平村 | 五箇山荘 |
| | 21 | 6月9日 | 火 | 松村記念館・福光美術館 | 富山市 | とやま自遊館 |
| 別添プログラム | 22 | 6月10日 | 水 | 富山県内見学(立山) | 〃 | 〃 |
| | 23 | 6月11日 | 木 | 移動 | 広島市 | リーガロイヤルホテル広島 |
| | 24 | 6月12日 | 金 | 宮島見学 | 〃 | 〃 |
| | 25 | 6月13日 | 土 | 広島市内見学 | 茨城市 | 大阪国際センター |
| | 26 | 6月14日 | 日 | 帰国準備 | 〃 | 〃 |
| | 27 | 6月15日 | 月 | 帰国に関する説明・諸手続き | 〃 | 〃 |
| | 28 | 6月16日 | 火 | 帰国 | 〃 | 〃 |

(3) 第13陣フィリピン・農業(25名)の受入日程
 都内分野別プログラム実施協力団体名: 社団法人 青年海外協力協会
 地方分野別プログラム実施協力団体名: 財団法人 石川県国際交流協会

| 区分 | 月日 | 曜日 | プログラム内容 | | 実施場所 | 宿泊場所 |
|------------|----|-------|---------|-------------------------|------|----------|
| | | | 午前 | 午後 | | |
| 共通プログラム | 1 | 8月19日 | 水 | 来日 | 大阪 | 大阪国際センター |
| | 2 | 8月20日 | 木 | フリーディング (JICA紹介・生活ガイドス) | 〃 | 〃 |
| | 3 | 8月21日 | 金 | 講義「日本人の意識と文化」 | 〃 | 〃 |
| | 4 | 8月22日 | 土 | 体験的日本語学習 | 〃 | 〃 |
| | 5 | 8月23日 | 日 | 施設見学 | 〃 | 〃 |
| | 6 | 8月24日 | 火 | 専門分野にかかる基礎的講義・質疑応答 | 〃 | 〃 |
| 分野別地方プログラム | 7 | 8月25日 | 水 | 移動 | 石川 | 都ホテル |
| | 8 | 8月26日 | 木 | 全国農業青年交換大会 | 〃 | 〃 |
| | 9 | 8月27日 | 金 | 全国農業青年交換大会 | 〃 | 〃 |
| | 10 | 8月28日 | 土 | 全国農業青年交換大会/ホームステイ[き取り] | 〃 | ホームステイ |
| | 11 | 8月29日 | 日 | ホームステイ | 〃 | 〃 |
| | 12 | 8月30日 | 月 | ホームステイ終了 | 〃 | 都ホテル |
| 都内分野別プログラム | 13 | 8月31日 | 火 | 県内見学 | 〃 | 〃 |
| | 14 | 9月1日 | 水 | 農業体験 | 〃 | 〃 |
| | 15 | 9月2日 | 木 | 自主研修 | 東京 | 京王プラザホテル |
| | 16 | 9月3日 | 金 | 農林水産省講義 | 〃 | 〃 |
| | 17 | 9月4日 | 土 | 合宿セミナーへ移動 | 横須賀 | 佐島マリーナ |
| | 18 | 9月5日 | 日 | 合宿セミナー | 〃 | 〃 |
| 都内分野別プログラム | 19 | 9月6日 | 月 | 合宿セミナー | 東京 | 京王プラザホテル |
| | | 9月7日 | 火 | 自主研修 | 〃 | 〃 |
| | 20 | 9月8日 | 水 | (株)クボタ工場見学 | 〃 | 〃 |
| | 21 | 9月9日 | 木 | 移動 | 広島 | 全日空ホテル |
| | 22 | 9月10日 | 金 | 平和記念公園 | 〃 | 〃 |
| | 23 | 9月11日 | 金 | 自主研修 | 大阪 | 大阪国際センター |
| 帰国プログラム | 24 | 9月12日 | 土 | 岡山へ移動 瀬戸大橋見学 | 〃 | 〃 |
| | 25 | 9月13日 | 日 | 帰国準備 | 〃 | 〃 |
| | 26 | 9月14日 | 月 | 帰国に関する説明・評価会 | 〃 | 〃 |
| | 27 | 9月15日 | 火 | 帰国 | 〃 | 〃 |

(4) 第1.6陣アフリカ英語圏・女性教員(21名)の受入日程
 都内分野別プログラム実施協力団体名: 社団法人 青少年育成国民会議
 地方分野別プログラム実施協力団体名: 武生市国際交流協会

| 区分 | 月日 | 曜日 | プログラム内容 | | 実施場所 | 宿泊場所 |
|------------|----|--------|---------|----------------------------|------|------------|
| | | | 午前 | 午後 | | |
| 共通プログラム | 1 | 10月14日 | 水 | 来日 | 東京 | ホテルメトロポリタン |
| | 2 | 10月15日 | 木 | ブリーフィング (JICA紹介・生活ガイダンス) | 〃 | 〃 |
| | 3 | 10月16日 | 金 | 講義「日本人の生活と価値観」 | 〃 | 〃 |
| | 4 | 10月17日 | 土 | 日本語学習(2) | 〃 | 〃 |
| | 5 | 10月18日 | 日 | 自主研修 | 〃 | 〃 |
| | 6 | 10月19日 | 月 | 講義「日本の教育」 | 〃 | 〃 |
| | 7 | 10月20日 | 火 | 講義「日本の経済発展史」 | 〃 | 〃 |
| 都内分野別プログラム | 8 | 10月21日 | 水 | NAYDオリエンテーション、講義「日本の青少年事情」 | 〃 | 京三プラザホテル |
| | 9 | 10月22日 | 木 | 国士館大学訪問(表敬/施設見学/関係者との懇談) | 〃 | 〃 |
| | 10 | 10月23日 | 金 | 合宿セミナー(日本青年同行) | 〃 | 東京/山梨 |
| | 11 | 10月24日 | 土 | グループ別討議。 | 〃 | 山梨 |
| | 12 | 10月25日 | 日 | 全体報告会・カルチャークワーショップ | 〃 | 山梨/東京 |
| | 13 | 10月26日 | 月 | 自主研修 | 〃 | 東京 |
| | 14 | 10月27日 | 火 | ボニースクールかつしか訪問 | 〃 | 〃 |
| 地方分野別プログラム | 15 | 10月28日 | 水 | 移動 | 〃 | 〃 |
| | 16 | 10月29日 | 木 | 武生市立南小学校訪問 | 武生市 | 武生パランスホテル |
| | 17 | 10月30日 | 金 | 福井県立武生東高校訪問 | 〃 | 〃 |
| | 18 | 10月31日 | 土 | ホームステイ | 〃 | ホームステイ |
| | 19 | 11月1日 | 日 | ホームステイ | 〃 | 武生パランスホテル |
| | 20 | 11月2日 | 月 | 自主研修日 | 〃 | 〃 |
| | 21 | 11月3日 | 火 | 講義「武生市の母子保健」 料理交流会 | 〃 | 〃 |
| 別プログラム | 22 | 11月4日 | 水 | 国立福井高等工業専門学校訪問 | 〃 | 〃 |
| | 23 | 11月5日 | 木 | 移動 | 〃 | 〃 |
| | 24 | 11月6日 | 金 | 宮崎見学 | 〃 | 〃 |
| 別プログラム | 25 | 11月7日 | 土 | 移動 | 〃 | 〃 |
| | 26 | 11月8日 | 日 | 帰国準備 | 〃 | 〃 |
| | 27 | 11月9日 | 月 | 帰国説明 評価会 | 〃 | 〃 |
| | 28 | 11月10日 | 火 | 帰国 | 〃 | 〃 |

(5) 第2陣ファイリピン・社会開発(26名)の受入日程
 都内分野別プログラム実施協力団体名:財団法人 日本ユースホステル協会
 地方分野別プログラム実施協力団体名:財団法人 石川県ユースホステル協会

| 区分 | 月日 | 曜日 | プログラム内容 | | 実施場所 | 宿泊場所 | |
|------------|----|-------|---------|--------------------------|----------------------------|------------|-----------|
| | | | 午前 | 午後 | | | |
| 共通プログラム | 1 | 1月13日 | 水 | 来日 | 大阪 | 大阪国際センター | |
| | 2 | 1月14日 | 木 | ブリーフィング (JICA紹介・生活ガイダンス) | 〃 | 〃 | |
| | 3 | 1月15日 | 金 | 講義「日本人の意識と文化」 | 〃 | 〃 | |
| | 4 | 1月16日 | 土 | 日本語学習(3) | 〃 | 〃 | |
| | 5 | 1月17日 | 日 | 自主研修 | 〃 | 〃 | |
| | 6 | 1月18日 | 月 | 講義「日本の産業と経済」 | 〃 | 〃 | |
| | 7 | 1月19日 | 火 | 講義「日本の社会開発」 | 国立民族学博物館訪問 | 〃 | |
| 都内分野別プログラム | 8 | 1月20日 | 水 | 東京へ移動 | 東京 | ホテルサンルート東京 | |
| | 9 | 1月21日 | 木 | 愛光女子学園訪問 | 〃 | 〃 | |
| | 10 | 1月22日 | 金 | 臨海副都心訪問 | 分科会アイスカッション | 〃 | |
| | 11 | 1月23日 | 土 | 合宿セミナー会場へ移動 | 分科会アイスカッション | 奈良 | 奈良ユースホステル |
| | 12 | 1月24日 | 日 | 合宿セミナー | 合宿セミナー開催 | 〃 | 〃 |
| | 13 | 1月25日 | 月 | 合宿セミナー | 合宿セミナー | 〃 | 〃 |
| | 14 | 1月26日 | 火 | 奈良市総合福祉センター訪問(音楽療法) | 自主研修 | 〃 | 〃 |
| 地方分野別プログラム | 15 | 1月27日 | 水 | 石川県へ移動 | 石川 | 金沢スカイホテル | |
| | 16 | 1月28日 | 木 | 小坂小学校訪問 | オリエンテーション MRO表敬 料理教室 歓迎夕食会 | 〃 | 〃 |
| | 17 | 1月29日 | 金 | 千木メダイカルケアタウン見学 | 小坂小学校 石川県、金沢市表敬 芸術村見学 | 〃 | 〃 |
| | 18 | 1月30日 | 土 | ホームステイ | 東部織機工場 ホストファミリー対面式 | 〃 | ホームステイ |
| | 19 | 1月31日 | 日 | ホームステイ | ホームステイ | 〃 | 金沢スカイホテル |
| | 20 | 2月1日 | 月 | 卯辰山工芸工房見学 | 自主研修 | 〃 | 〃 |
| | 21 | 2月2日 | 火 | 市職員との意見交換会 | 自主研修 | 〃 | ふれあいの里 |
| 市内研修 | 22 | 2月3日 | 水 | スキー体験 紙すき体験 | 送別会 | 〃 | 金沢スカイホテル |
| | 23 | 2月4日 | 木 | 広島へ移動 | 同左 | 広島 | 中国国際センター |
| | 24 | 2月5日 | 金 | 広島市内見学 | 同左 | 〃 | 〃 |
| | 25 | 2月6日 | 土 | 大阪へ移動 | 同左 | 大阪 | 大阪国際センター |
| 帰国 | 26 | 2月7日 | 日 | 帰国準備 | 同左 | 〃 | 〃 |
| | 27 | 2月8日 | 月 | 帰国に関する説明・諸手続き | 評議会・閉講式・送別会 | 〃 | 〃 |
| | 28 | 2月9日 | 火 | 帰国 | | 〃 | 〃 |

資料26

高校教師海外研修派遣実績（北陸3県）

| 担当支部名 | 年度 | 教師名 | 学校名 | 担当教科 | 派遣国 |
|-------|------|--------|------------|----------|--------------|
| 中部支部 | H元年 | 高谷 純夫 | 富山県立富山西高校 | 社会 | タイ |
| | | 高崎 義一 | 石川県立七尾高校 | 英語 | マレーシア |
| | 2年 | 西川 栄紀 | 石川県立工業高校 | 英語 | ブラジル・パラグアイ |
| | | 西田 哲章 | 福井県立坂井農業高校 | 農業 | マレーシア・シンガポール |
| | 3年 | 千代 佐敏 | 富山県立福野高校 | 農業 | ブラジル・パラグアイ |
| | 4年 | 田畑 正村 | 石川県立七尾農業高校 | 農業 | マレーシア・シンガポール |
| | | 山本 泰彦 | 福井県立敦賀高等学校 | 英語 | マレーシア・シンガポール |
| | 北陸支部 | 5年 | 小島 隆彦 | 富山県立伏木高校 | 国語 |
| 新古 達也 | | | 石川県立富来高校 | 英語 | インドネシア |
| 小原 洋美 | | | 福井県立足羽高校 | 社会 | インドネシア |
| 6年 | | 出村 豊 | 石川県立七尾農業高校 | 農業 | ケニア |
| | | 松田 直子 | 富山県立雄峰高校 | 英語 | メキシコ・ホンジュラス |
| 7年 | | 出村 久仁男 | 福井県立高志高校 | 社会 | パラグアイ |
| 8年 | | 川端 正明 | 石川県立小松明峰高校 | 地理 | ホンジュラス・グアテマラ |
| | | 砂原 美知子 | 富山県立上市高校 | 社会 | モンゴル |
| 9年 | | 西塔 弘一 | 富山県立富山工業高校 | 英語 | ヴェトナム |
| | | 東 留美子 | 石川県立富来高校 | 英語 | パナマ |
| | | 片野 正人 | 福井県立武生東高校 | 英語 | ヴェトナム |
| 10年 | | 松井 元雄 | 石川県立七尾農業高校 | 農業 | メキシコ・エルサルバドル |

資料27

中学教師海外研修派遣実績（北陸3県）

| 年度 | 県 | 教師名 | 学校名 | 担当教科 | 派遣国 |
|------|----|-------|----------|------|-------|
| 平成9年 | 石川 | 米山 千幸 | 金沢市立緑中学校 | 英語 | ジンバブエ |

北陸3県高等学校国際教育研究会(高国教)及び開発教育関連活動状況

| 日時(平成) | 実施機関・実施項目 | 活動内容 | 実施場所 | 参加者等 |
|-----------------|-------------------------------|------------------|----------------------------------|--------------------------|
| 10.5.25 | 10年度高校教師海外研修 | 支部推薦者決定 | | |
| 10.5.21 | 10年度高校教師海外研修 | 派遣者決定 | | 石川県立七尾農業高校 松井 元雄 |
| 10.6.18 | 10年度高校教師海外研修 | 支部事前研修 | 北陸支部会議室 | 和田職員 |
| 10.6.19 | 石川県高等学校国際教育協議会 | 総会 | 文教会館(金沢市) | 福田支部長 角野JOCV/OG講演 |
| 10.6.30 | 富山県高等学校国際教育研究会 | 総会 | 桜井高校(富山県黒部市) | 和田職員、荒井国際協力推進員 |
| 10.7.3 | 高国教 東海・北陸地区会議 | 会長会 | 六巻苑(金沢市) | 福田支部長 |
| 10.7.9 | 金沢西高祭 パネル展/民俗衣装試着 | 学校祭 | 金沢西高等学校 | 荒水カウンスラー、和田職員 |
| 10.7.30*10.8.10 | 10年度高校教師海外研修 | 研修 | 事前研修 東京国際研修センター(2日間)メキシコ、エルサルバドル | 石川県立七尾農業高校 松井 元雄 和田職員 |
| 10.8.17 | 高校生エッセイコンテスト審査発表 (個人賞、学校賞) | 本部、支部、 合宿セミナー | グエトナム旅行 富山県五箇所山青少年旅行村 | 津野 豊 富山高岡第一高校 林 香織 |
| 10.8.20 | 高校生のための国際協力セミナー | 学校祭 | 金沢二水高等学校 | 荒井国際協力推進員 |
| 10.9.5 | 金沢二水高校国際協力パネル展 | 講演会 | 福井県国際交流会館(福井市) | 荒水カウンスラー、和田職員 |
| 10.11.12 | 福井県高国教国際交流体験発表会 | 臨時総会 | 県部市国際文化センター | 平田JOCV/OG講演 |
| 10.11.17 | 富山県高国教研究会 | JICA本部 | 金沢市国際交流センター | 荒井国際協力推進員 |
| 10.11.17 | 開発教育調査研究 | 第1回総会 | 金沢都ホテル | 教習現場アンケート 福田支部長 |
| 10.11.21 | 北陸国際教育協会 | 職場訪問 | 北陸支部 | 和田職員、朝比奈JOCV/OG |
| 10.12.17 | 国際理解講座(富山推幹高校) | 合宿セミナー | JICA本部 | JICA PNG研修員 |
| 11.1.8 | 高校生エッセイコンテスト99募集開始 | 理事会 | パレ・プラン高志会館(富山市) | 福田支部長 |
| 11.1.23 | 金沢西高校国際交流会宿 | | 金沢二水高校 | 佐野研修担当、JICA 研修員 |
| 11.1.29 | 高国教東海・北陸地区会議 | | | |
| 11.3.21 | 金沢二水高校国際交流イベント | | | |

資料29

地方自治体職員等国際協力実務研修への参加実績（北陸3県）

| 番号 | 氏名 | 勤務先 | 所属部課（当時） | 受講コース 語学 |
|--------|-------|----------------|--------------|----------|
| 平成4年度 | 仁木 良市 | 富山県 | 総務部国際課 | 語学 英語 |
| 〃 5 〃 | 岡本 陽子 | 富山県 | 総務部国際課 | 実務・語学 英語 |
| 〃 6 〃 | 堀 昭禎 | 魚津市 | 企画広報室 | 実務 |
| 〃 7 〃 | 板谷 麻夕 | 富山県 | 総務部国際課 | 実務 |
| 〃 7 〃 | 荒山 洋子 | 富山市民国際交流協会 | | 実務 |
| 〃 8 〃 | 滑川 哲宏 | 富山県 | 総務部国際課 | 実務 |
| 〃 9 〃 | 石田 文弘 | 富山市 | 国際課 | 実務 |
| 〃 10 〃 | 小松 清美 | (財) とやま国際センター | 総務課 | 実務 |
| 〃 10 〃 | 酒井千絵子 | 富山市国際交流センター | | 実務 |
| 〃 2 〃 | 塚田 勝之 | 石川県 | 県民生活局国際交流課 | 実務 |
| 〃 5 〃 | 岡本真樹子 | 石川県 | 県民生活局国際交流課 | 実務・語学 英語 |
| 〃 6 〃 | 森岡智恵子 | 石川県 | 県民生活局国際交流課 | 実務 |
| 〃 6 〃 | 笹谷 和子 | (財) 金沢国際交流財団 | 事務局 | 実務 |
| 〃 6 〃 | 山原 由紀 | 石川県 | 県民生活局国際交流課 | 実務・語学 英語 |
| 〃 7 〃 | 山田 敏之 | (財) 金沢国際交流財団 | | 実務 |
| 〃 7 〃 | 北井 洋一 | 石川県 | 農業総合試験場 | 実務 |
| 〃 8 〃 | 若杉 敏郎 | 金沢市 | 環境部生活環境課 | 実務・語学 英語 |
| 〃 8 〃 | 杉元 徹 | 金沢市 | 美術工芸大学学生部学生課 | 実務・語学 英語 |
| 〃 9 〃 | 前田 斉 | 金沢市 | 国際交流課 | 実務・語学 英語 |
| 〃 5 〃 | 田端まき | 福井県 | 県民生活部国際交流課 | 実務 |
| 〃 6 〃 | 山内 和芳 | 福井県 | 県民生活部国際交流課 | 実務 |
| 〃 6 〃 | 安田 美保 | (財) 福井県国際交流協会 | | 実務 |
| 〃 7 〃 | 三好 栄 | 武生市 | 生涯学習センター | 実務 |
| 〃 8 〃 | 川口 範子 | (財) 福井県国際交流協会 | 総務課 | 実務 |
| 〃 8 〃 | 宮前 信彦 | 若狭湾エネルギー研究センター | 研修・交流部 | 実務 |

地方自治体職員等国際協力実務研修地方開催分実施概要(No1)

| 開催県・テーマ等 | 実施月日 | 実施場所 | 対象等 | | 共催・後援等 | 講師等 | 内容(プログラム) |
|---|--|--|---|----------------|----------------------------------|--|---|
| | | | 区分 | 人数 | | | |
| 平成5年度 福井県 「地球の国際化と国際協力」 (福井県市町村国際交流・ 協力主管課長会議と同時開 催) | 平成6年 3月22日(水) 10:30~14:00 | 福井県 県民会館 7階会議室 | 福井県国際交流課 職員 福井県下市町村 国際交流主管課長 他 | 38名 | 福井県 国際交流課 | 加藤正昭氏 (福井県国際交流課長) | <p>ープログラムー</p> <p>(1) 県の国際交流関連事業 ・平成5年度の主な国際交流事業 ・新江若、ニューサンダー、五日本海沿国との交流事業 ・外国人定住政策事業</p> <p>(2) 市町村の国際交流関連事業 ・市町村の国際交流関連事業</p> <p>(3) (財)福井県国際交流協会の事業 ・平成6年度の主な協会事業</p> <p>(4) 国際協力事業での地方自治体との連携 ・市町村における国際交流・協力の推進 ・市町村における国際交流・協力事業の事例発表 ・国際交流・協力を進めていく上での問題点等</p> <p>(5) 意見交換</p> |
| 平成6年度 富山県 「国際協力事業での自治体 との連携」 (富山県市町村国際交流・ 協力担当課長会議と同時開 催) | 平成6年 7月29日(金) 10:00~13:30 | 高志会館 (富山市) | 富山県市町村 国際交流・協力 担当課長 富山県国際課職員 助とやま国際 センター職員 | 40名 | 富山県 国際課 | 塚原 謙二 (富山県国際課長) 高田 昇 (とやま国際センター事務局長) 木下 正文 (国際協力総合研究所 業務担当(当時)) 岩崎 薫 (北陸支那担当) | <p>(1) 国際協力事業での自治体との連携 OJICA事業紹介ビデオ「地球の明日を見つめて」 ①連携に係る最近の動向 ②連携活動の現状 ③連携拡大に向けて</p> <p>(2) 県の国際交流・国際協力について ①富山県の国際交流の概要 ②平成6年度国際課関係事業 ③ 助とやま国際センターの事業概要</p> |
| 平成7年度 石川県 石川県 | 平成7年 4月24日(月) 13:30~15:00 平成8年 1月11日(火) 13:00~14:00 | 石川県庁 会議室 アートル シアター いしかわ (金沢市) | 石川県市町村 国際交流担当課長 石川県市町村 国際交流担当者 国際交流団体 | 38名 61名 | 石川県 国際交流課 石川県 国際交流課 | 木庄 直樹 (石川県国際交流課長) 助石川県国際交流協会 岩崎 薫 (北陸支那担当) 豊 二夫 (外務省有償資金協力課企画官) 北村 隆 (石川県国際交流課専門員) 佐藤 政弘 (北陸支那担当) | <p>ープログラムー</p> <p>(1) 平成7年度石川県国際交流事業計画 (2) 国際交流課について (3) 助石川県国際交流協会について (4) 国際協力事業団について</p> <p>ープログラムー</p> <p>(1) 地方自治体及びN G Oの国際協力 (2) 石川県の国際協力の現状と課題 (3) 国際協力事業に関するJICAと地方自治体の連携</p> |
| 平成8年度 石川県 | 平成8年 11月22日(金) | ハフマレー 4 F会議室 | 石川県市町村 国際交流団体 | 36名 | 石川県 石川県 国際交流協会 | オランダKDK 専任トレーナー マリアン・ラメイヤー他 | <p>ープログラムー</p> <p>(1) 地域・自治体レベルの国際交流・協力 (2) JICA事業紹介ビデオ (3) 国際協力事業に関するJICAと地方自治体の連携</p> |
| 平成9年度 富山県 | 平成9年 6月6日(金) | 富山県 市町村会館 ホール | 富山県市町村 国際交流団体 | 44名 | 富山県国際課 とやま国際セ ンター | 五月女 光弘 (外務省有償資金協力課企画官) 高橋 秀行 (財政課計画国際協力財団) 佐々木 豊(支那担当) | 講演「21世紀を見据えた国際協力のあり方」 ープログラムー (1) 県の国際交流・協力施策 (2) 助とやま国際センターの概要 (3) JICAと地方自治体の連携 |

地方自治体職員等国際協力実務研修地方開催分実施概要(No2)

| 開催県・テーマ等 | 実施月日 | 実施場所 | 対象等 | | 共催・後援等 | 講師等 | 内容(プログラム) |
|------------------------------------|------------------------------|---------------|----------------|-----|---------------------------------|---|---|
| | | | 区分 | 人数 | | | |
| 平成10年度 石川県 「地方自治体の国際協力の取り組み」 | 平成10年11月 11日(水) 11:00~ | 金沢市 レファレーン | 石川県内各市町村 | 45名 | 石川県 国際課 | 梁谷 外茂治 (石川県国際課長) 林 義則 (文部省代理) 和田 孝英 (北陸支部担当) | プログラムー (1) JICA事業説明 (2) 市町村の国際交流関連事業について (3) アフリカに対する日本の援助 (4) 国際協力事業での地方自治体との連携 (5) 意見交換 ・市町村における国際交流・協力の推進 ・国際交流・協力を進めていく上での問題点等 |
| 富山県 「JICAと地方自治体の連携事業」 | 平成11年1月 13日(水) 14:00~ | 富山市 県庁 | 富山県職員 | 22名 | 富山県 国際課 | 下村 直樹 (富山県国際課長) 和田 孝英 (北陸支部担当) | (1) JICA事業説明 (2) 国際協力事業での地方自治体との連携 ・研修事業地方枠について ・専門家、協力隊員の現職参加 ・プロジェクトの立ち上げのノウハウ (3) 意見交換 |
| 「JICA and OECF合同セミナー」 | 平成11年2月 8日(月) 13:30~ | 富山県民会 館 | 富山県自治体職員 一般 | 65名 | 富山県 国際課 とやま国 際センタ ー | 畑中 邦夫 (OECF環境社会環境室長) 小田島 健 (OECF業務第二課長代理) 福田 省三 (支部長) 和田 孝英 (北陸支部担当) | (1) ODAの概要説明 (2) JICA事業説明 (3) OECF海外融資説明 (4) 質疑応答 |